
さぬき市 男女共同参画に関する
中学生アンケート調査

－ 報告書 －

2022（令和4）年11月
香川県 さぬき市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	2
1 性別	2
2 同居家族	2
III 調査結果	3
1 男女共同参画社会の認知状況	3
2 男女の性別差や役割分担等について	4
3 男女の平等意識	7
4 性別を意識した周囲からの発言の有無	10
5 性別を意識した発言の内容	11
6 性別を意識した発言をされたときの気持ち	14
7 家庭内での役割分担	15
8 家での手伝い	17
9 家事を手伝う時間	19
10 希望する進路	20
11 文系・理系タイプ	22
12 望ましい女性の働き方	23
13 用語の認知状況	25
14 暴力の許容範囲について	28
15 悩みに対する相談相手の有無	30
16 悩みを相談できる人	31
17 性に関する悩みの有無	33
18 男女共同参画社会について（自由記述回答）	34
資料 調査票	42

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「第3次さぬき市男女共同参画プラン」の策定に当たり、中学生における学校生活での男女共同参画に関する意識や実態、意見等を調査し、今後の計画づくりのための基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査対象】

市内中学校の2年生

【調査方法】

各学校を通して配付、回収

【調査期間】

2022（令和4）年8月

【回収結果】

配布数 ----- 361 件

有効回収数 ----- 329 件

有効回収率 ----- 91.1%

【報告書の見方について】

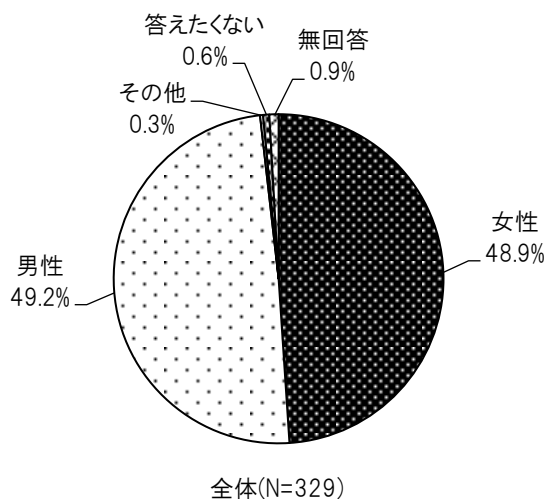
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における性別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、性別でクロス集計する場合における性別の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 設問によっては、平成29年に実施した同調査との比較を行っている（時系列推移）。その際、図表等の表記は平成29年調査を「前回（H29）」と略記している。
- (7) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 回答者の属性

1 性別

問1 あなたの性別をお答えください。（自認する性別をお答えください。）（○印1つ）

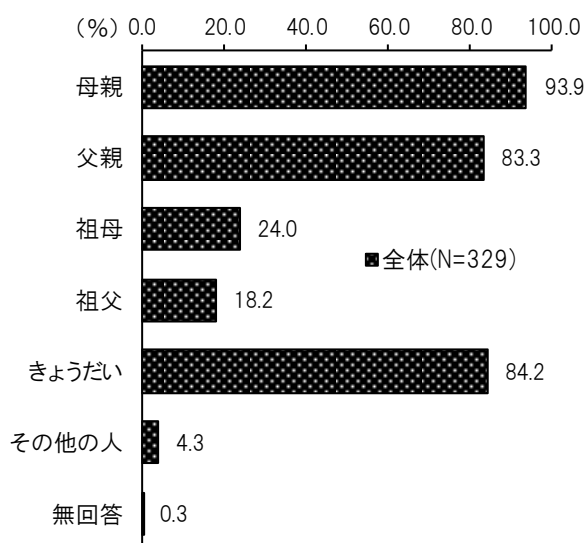
回答者の性別構成比は、「女性」が48.9%、「男性」が49.2%と、ほぼ同割合となっている。



2 同居家族

問2 あなたと同居している家族を教えてください。（単身赴任の人も含む。）
（あてはまるものすべてに○）

同居家族については、「母親」の割合が93.9%と最も高く、次いで「きょうだい」(84.2%)、「父親」(83.3%)、「祖母」(24.0%)、「祖父」(18.2%)の順となっている。



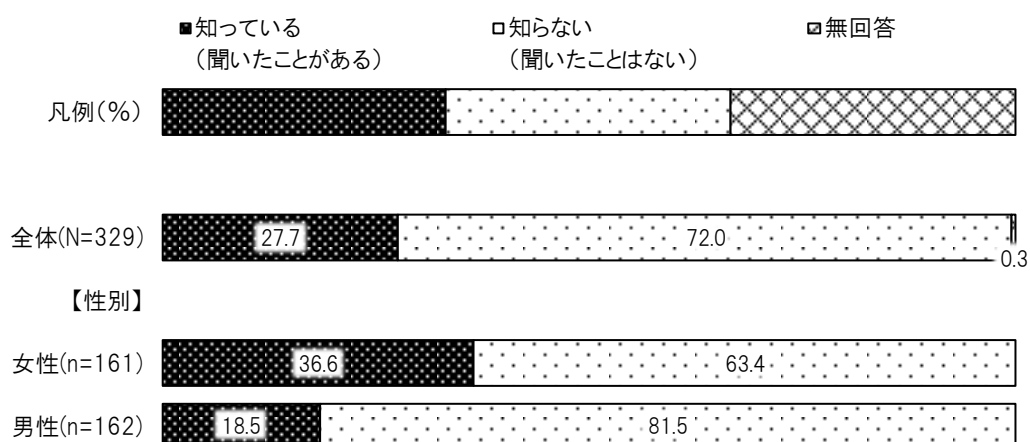
Ⅲ 調査結果

1 男女共同参画社会の認知状況

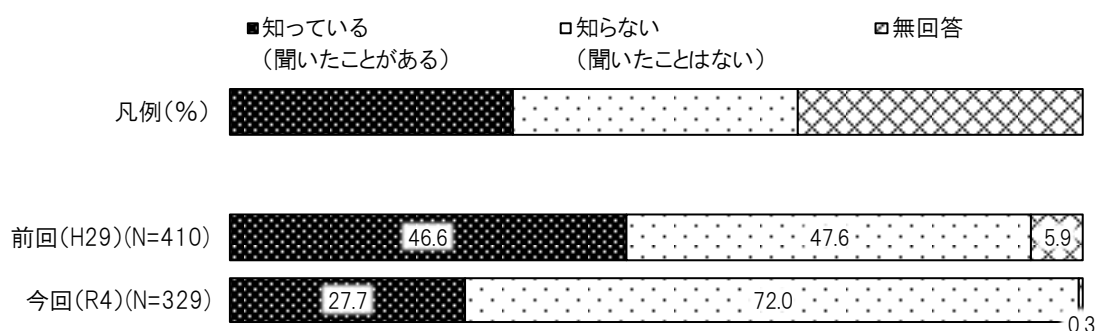
問3 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。又は聞いたことがありましたか。(○印1つ)

男女共同参画社会の認知状況については、「知っている(聞いたことがある)」が27.7%、「知らない(聞いたことはない)」が72.0%となっている。

性別では、女性は「知っている(聞いたことがある)」の割合が男性を大きく上回っている。



【参考/時系列推移】



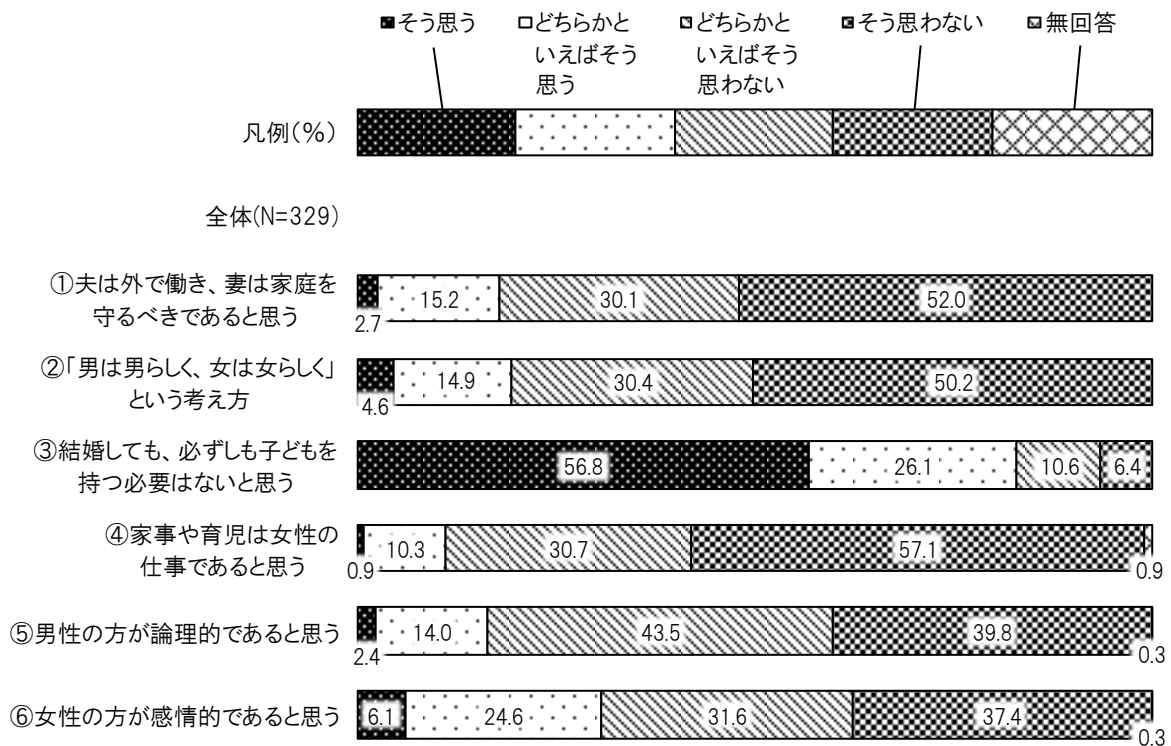
注:「知っている(聞いたことがある)」の前回調査結果は、「内容まで知っている」「見聞きしたことがある」の合計値

2 男女の性別差や役割分担等について

問4 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。(○印1つずつ)

男女の性別差や役割分担等については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合計した割合が高い順に、「③結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はないと思う」(82.9%)、「⑥女性の方が感情的であると思う」(30.7%)となっている。

一方、「そう思わない」の割合が高い順に、「④家事や育児は女性の仕事であると思う」(57.1%)、「①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであると思う」(52.0%)、「②男は男らしく、女は女らしくという考え方」(50.2%)となっている。

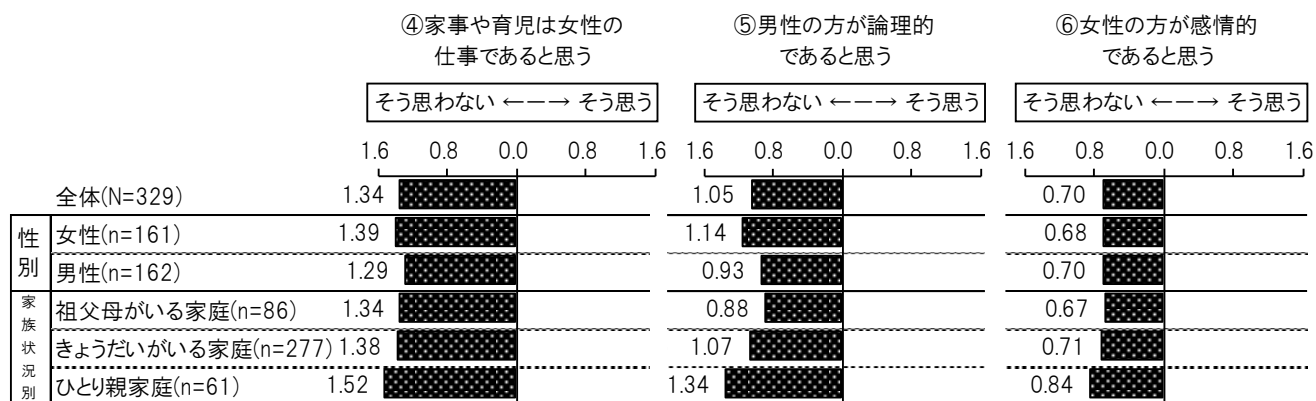
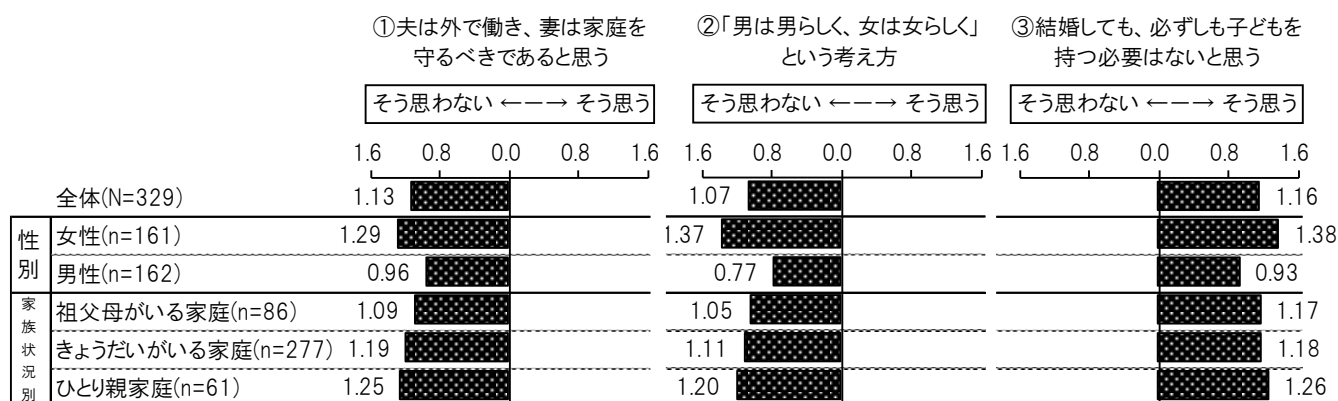


平均評定値*による属性別傾向をみると、女性は「②男は男らしく、女は女らしくという考え方」で「そう思わない」、「③結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はないと思う」で「そう思う」がそれぞれ男性を大きく上回っている。

家族状況別でみると、祖父母がいる家庭では「①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであると思う」「②男は男らしく、女は女らしくという考え方」で「そう思わない」が他の層に比べて低くなっている。また、ひとり親家庭では「⑤男性の方が論理的であると思う」で「そう思わない」が高くなっている。

※平均評定値

平均評定値とは、「そう思う」「そう思わない」に2点、「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」に1点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ、加重平均して算出した値で、グラフ上では右側が肯定的、左側が否定的な意見を示す指標である。



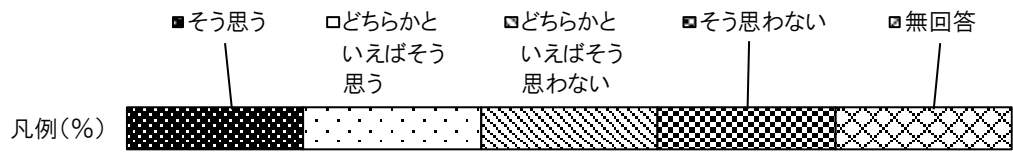
※「家族状況別」クロス集計については、以下の集計による(以下同様)

【祖父母がいる家庭】「同居家族の構成(問2)」において「祖母」又は「祖父」と回答した人

【きょうだいがいる家庭】「同居家族の構成(問2)」において「きょうだい」と回答した人

【ひとり親家庭】「同居家族の構成(問2)」において「母親」又は「父親」のいずれかのみを回答した人

【参考／時系列推移】



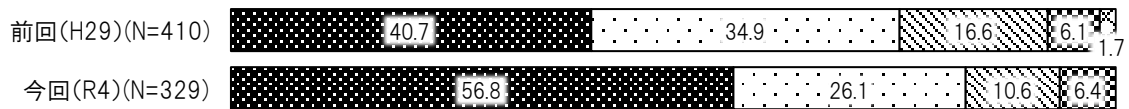
①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであると思う



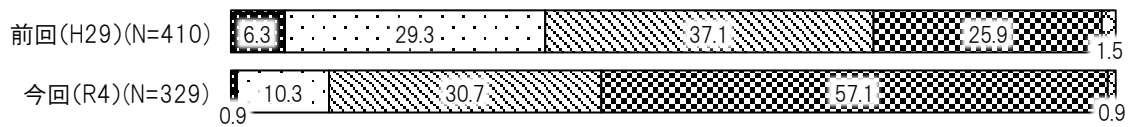
②「男は男らしく、女は女らしく」という考え方



③結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はないと思う



④家事や育児は女性の仕事であると思う



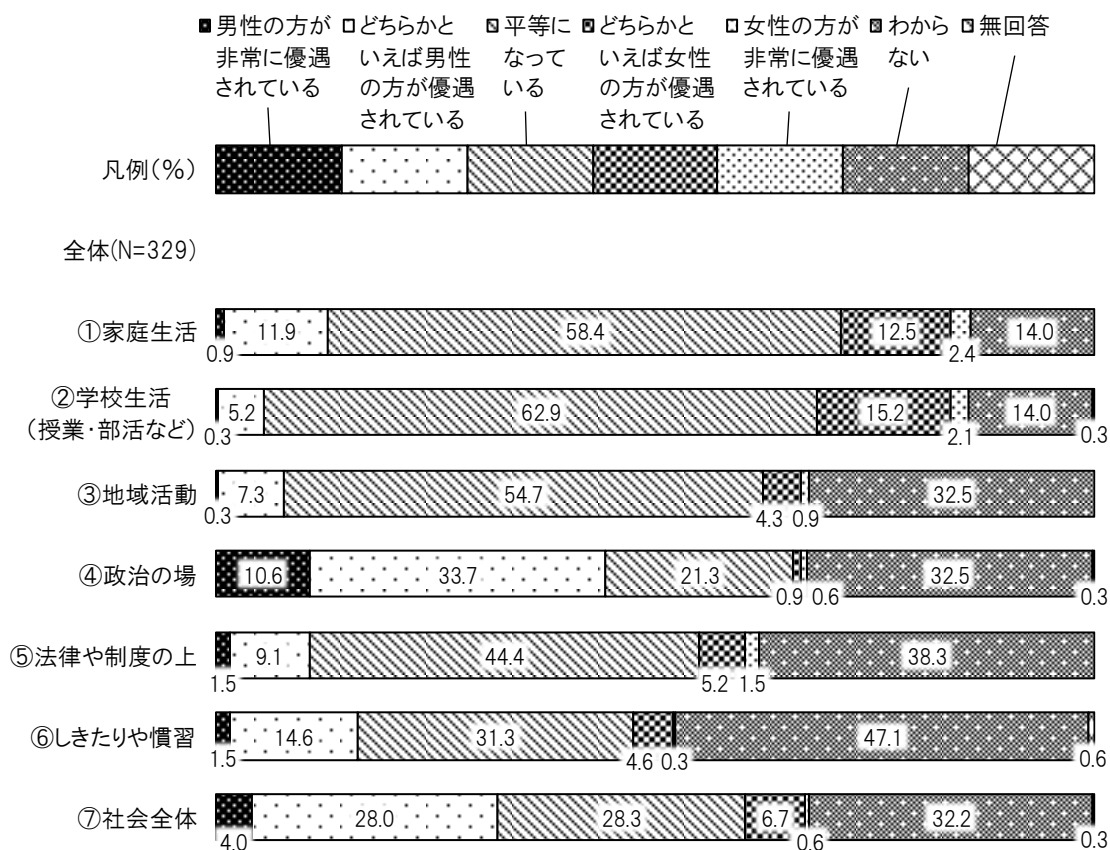
3 男女の平等意識

問5 あなたは、次の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①から⑦までの項目についてお答えください。（○印1つずつ）

男女の平等意識については、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）の割合が高い順に、「④政治の場」（44.3%）、「⑦社会全体」（32.0%）となっている。

一方、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計）の割合については、「②学校生活（授業・部活など）」（17.3%）、「①家庭生活」（14.9%）でそれぞれ『男性優遇』の割合を上回っている。

また、「平等になっている」割合が高い順に、「②学校生活（授業・部活など）」（62.9%）、「①家庭生活」（58.4%）、「③地域活動」（54.7%）となっている。



平均評定値*による属性別傾向をみると、男性は「②学校生活（授業・部活など）」で『女性優遇』意識が高く、女性は「④政治の場」「⑤法律や制度の上」「⑦社会全体」で『男性優遇』意識が高くなっている。

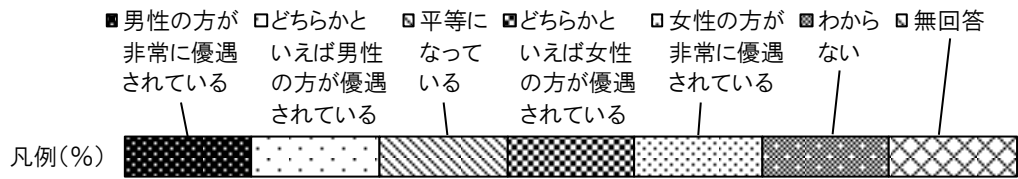
家族状況別でみると、祖父母がいる家庭では「⑥しきたりや慣習」で『男性優遇』意識が高く、ひとり親家庭では「②学校生活（授業・部活など）」で『女性優遇』意識が高くなっている。

※平均評定値

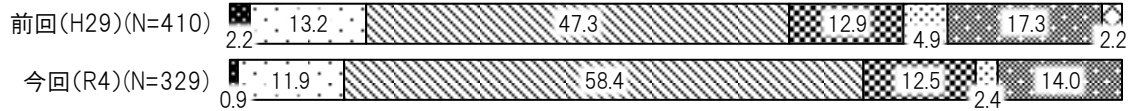
平均評定値とは、女性、男性それぞれについて「非常に優遇されている」に2点、「どちらかといえば優遇されている」に1点、「平等になっている」に0点の係数を、それぞれの回答件数に乘じ加重平均して算出した値で、グラフ上では左側が男性優遇、右側が女性優遇、0に近いほど平等を示す指標である。



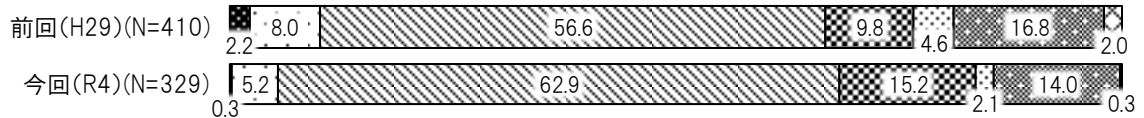
【参考／時系列推移】



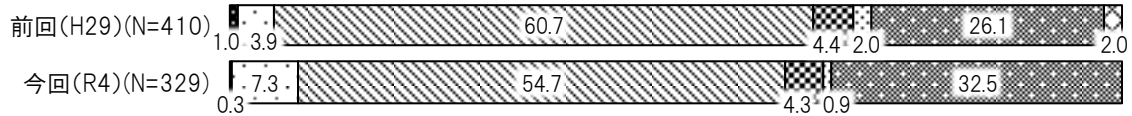
①家庭生活



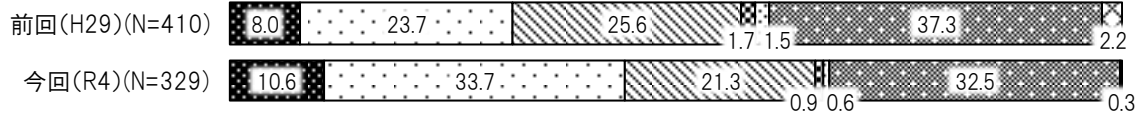
②学校生活(授業・部活など)



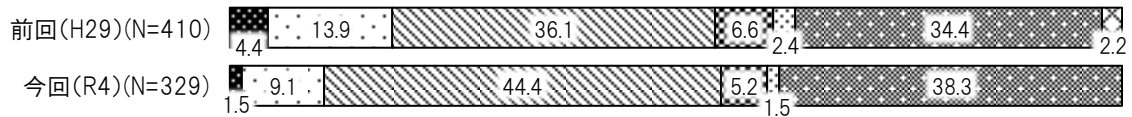
③地域活動



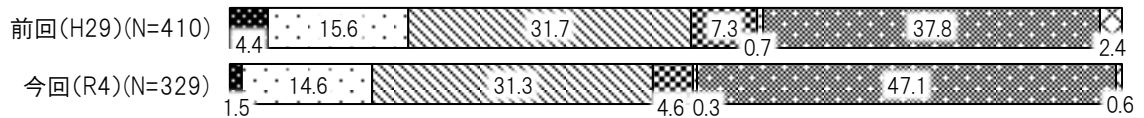
④政治の場



⑤法律や制度の上



⑥しきたりや慣習



⑦社会全体



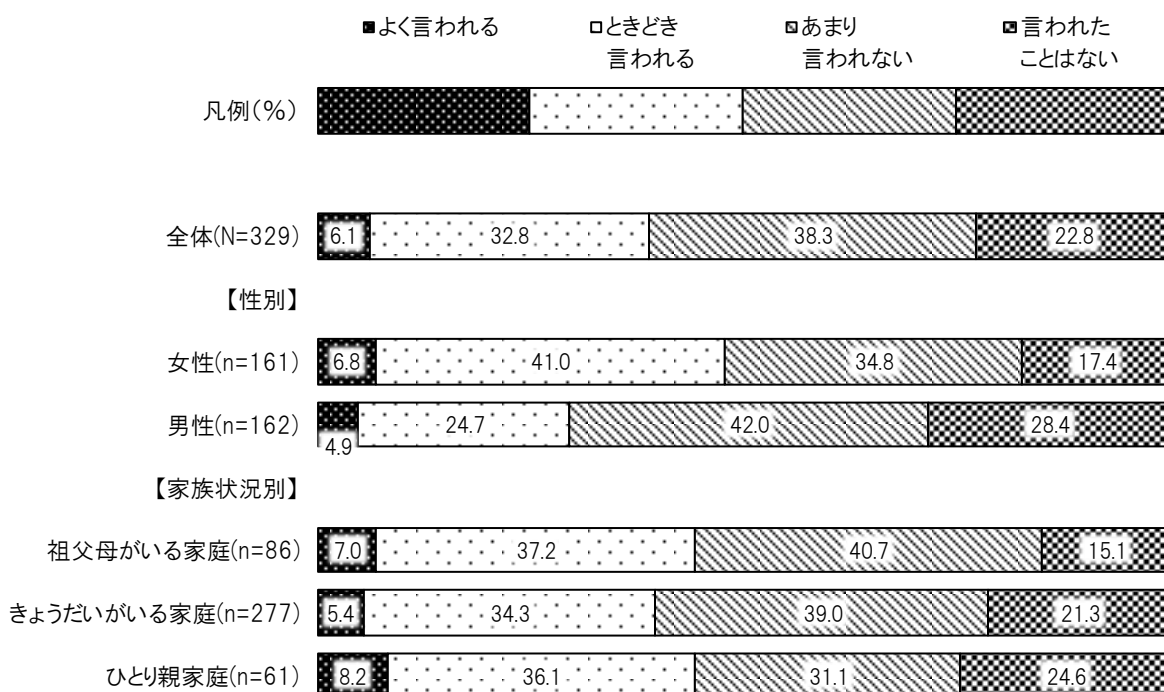
4 性別を意識した周囲からの発言の有無

問6 あなたは、大人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。(○印1つ)

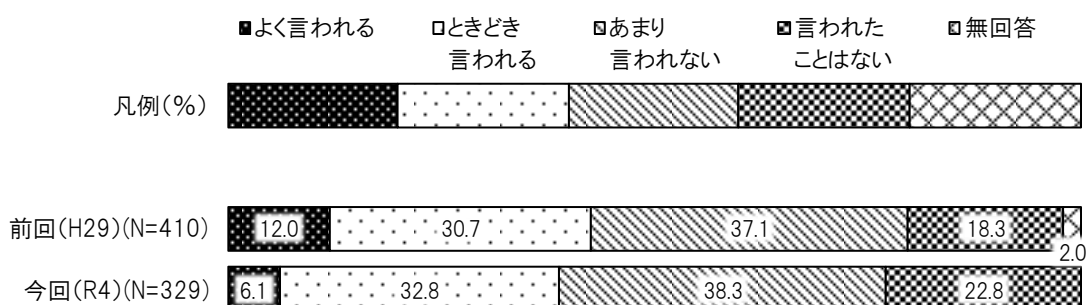
性別を意識した周囲からの発言については、「よく言われる」が6.1%、「ときどき言われる」が32.8%、合計で約4割(38.9%)が『言われる』と回答している。一方、「あまり言われたい」(38.3%)、「言われたことはない」(22.8%)の合計は約6割(61.1%)となっている。

性別では、女性は「ときどき言われる」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ『言われたい(合計)』の割合が高くなっている。

家族状況別でみると、祖父母がいる家庭で「言われたことはない」の割合が他の層に比べて低くなっている。



【参考/時系列推移】



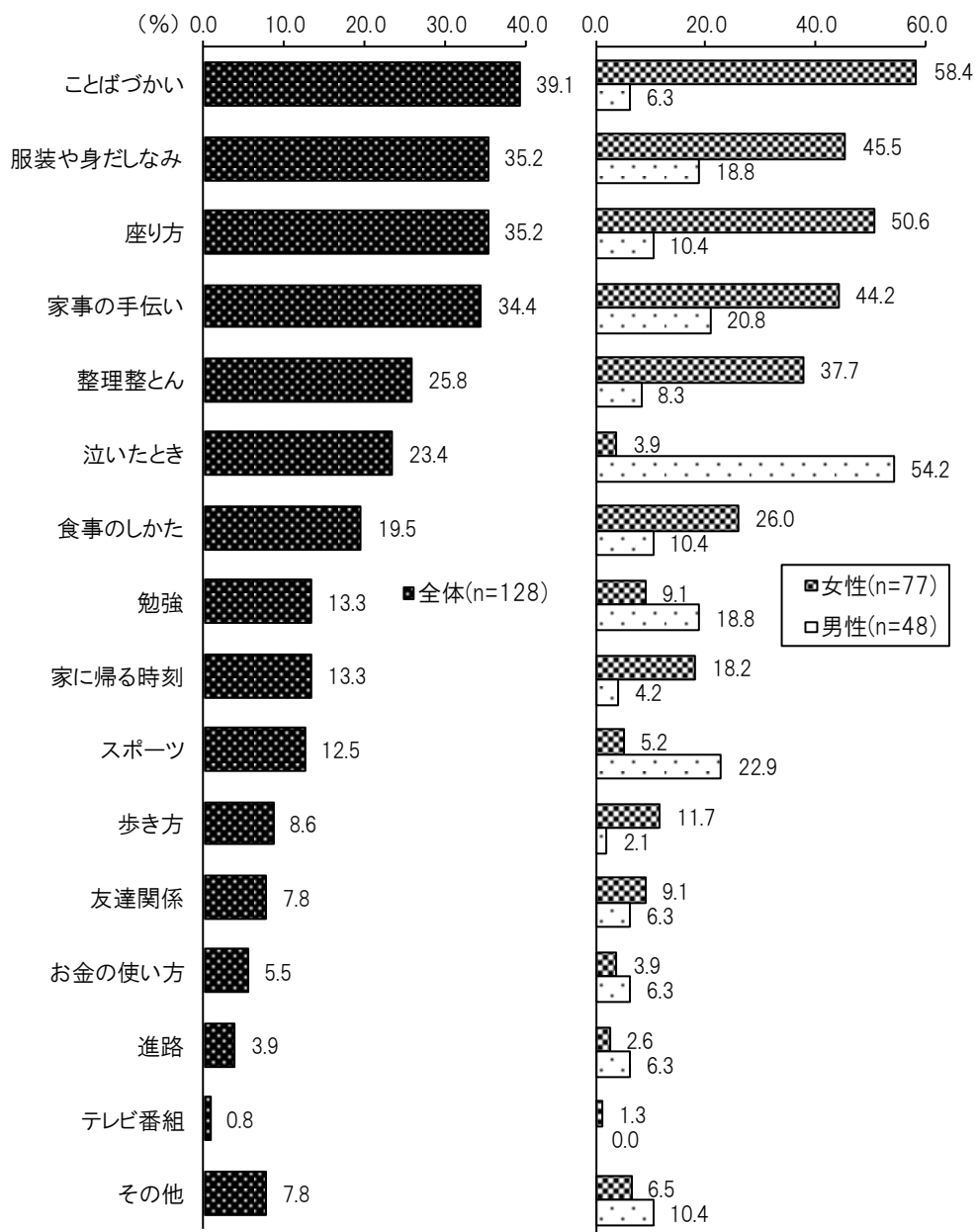
5 性別を意識した発言の内容

【問6で「1～2」と答えた方におたずねします。】

問7 どのようなことについて言われたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

性別を意識した発言の内容については、「ことばづかい」の割合が39.1%と最も高く、次いで「服装や身だしなみ」「座り方」(各35.2%)、「家事の手伝い」(34.4%)、「整理整頓」(25.8%)の順となっている。

性別では、男性は女性に比べ「泣いたとき」「勉強」「スポーツ」の割合が高く、女性は「ことばづかい」「服装や身だしなみ」「座り方」「家事の手伝い」「整理整頓」など男性を大きく上回る項目が多岐にわたっている。

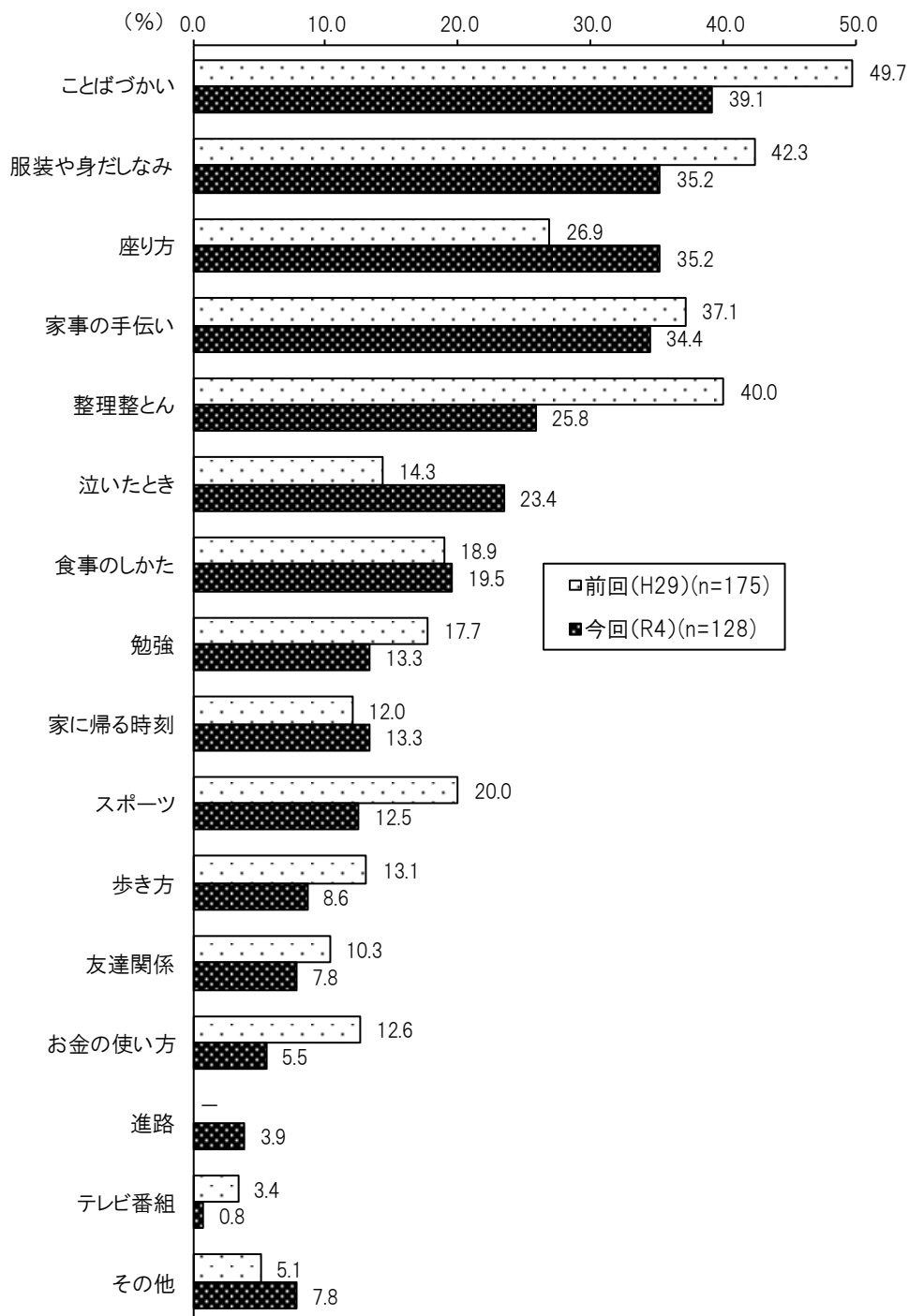


家族状況別でみると、きょうだいがいる家庭で「ことばづかい」、ひとり親家庭で「服装や身だしなみ」「泣いたとき」「勉強」などの割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	ことばづかい	服装や身だしなみ	座り方	家事の手伝い	整理整頓	泣いたとき	食事のしかた	勉強	家に帰る時刻	スポーツ
全体(n=128)	39.1	35.2	35.2	34.4	25.8	23.4	19.5	13.3	13.3	12.5
【家族状況別】										
祖父母がいる家庭(n=38)	34.2	34.2	23.7	34.2	28.9	23.7	13.2	21.1	10.5	13.2
きょうだいがいる家庭(n=110)	39.1	35.5	35.5	35.5	27.3	23.6	20.9	12.7	14.5	12.7
ひとり親家庭(n=27)	29.6	44.4	33.3	25.9	25.9	29.6	18.5	25.9	11.1	14.8

単位 (%)	歩き方	友達関係	お金の使い方	進路	テレビ番組	その他
全体(n=128)	8.6	7.8	5.5	3.9	0.8	7.8
【家族状況別】						
祖父母がいる家庭(n=38)	5.3	5.3	2.6	5.3	0.0	2.6
きょうだいがいる家庭(n=110)	8.2	8.2	5.5	2.7	0.9	9.1
ひとり親家庭(n=27)	3.7	7.4	11.1	11.1	3.7	11.1

【参考／時系列推移】



注：前回調査では、「進路」の選択肢はない。

6 性別を意識した発言をされたときの気持ち

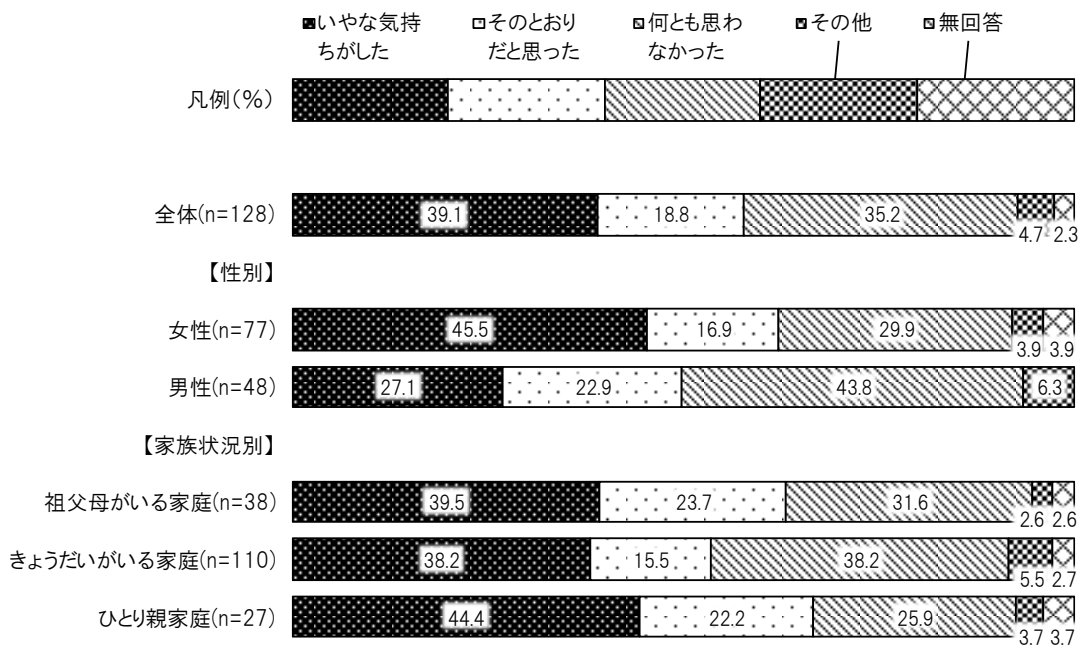
【問6で「1～2」と答えた方におたずねします。】

問8 あなたはその時どんな気持ちがしましたか。(○印1つ)

性別を意識した発言をされたときの気持ちについては、「いやな気持ちでした」が39.1%、「そのとおりだと思った」が18.8%、「何とも思わなかった」が35.2%となっている。

性別では、女性は「いやな気持ちでした」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「何とも思わなかった」の割合が高くなっている。

家族状況別でみると、きょうだいがいる家庭で「何とも思わなかった」、ひとり親家庭で「いやな気持ちでした」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

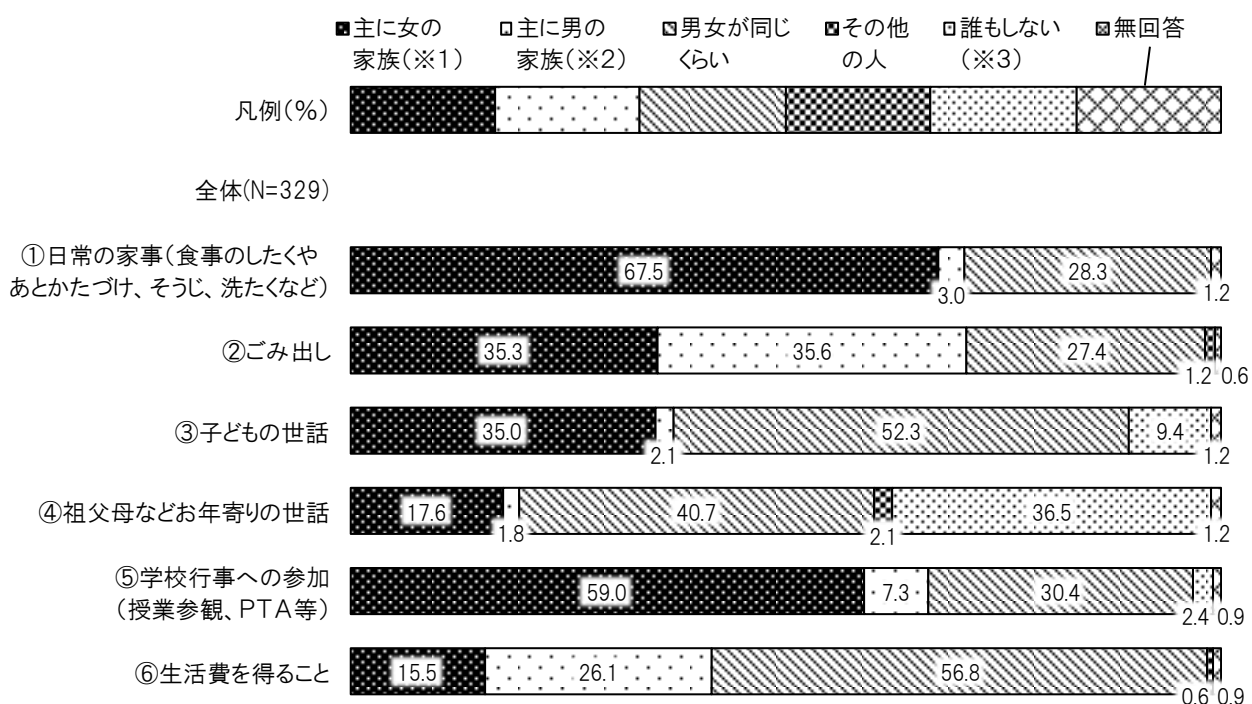


7 家庭内での役割分担

問9 あなたの家庭では、次の①から⑥までの項目を、誰が行っていますか。最もよく行っている人をお答えください。（○印1つずつ）

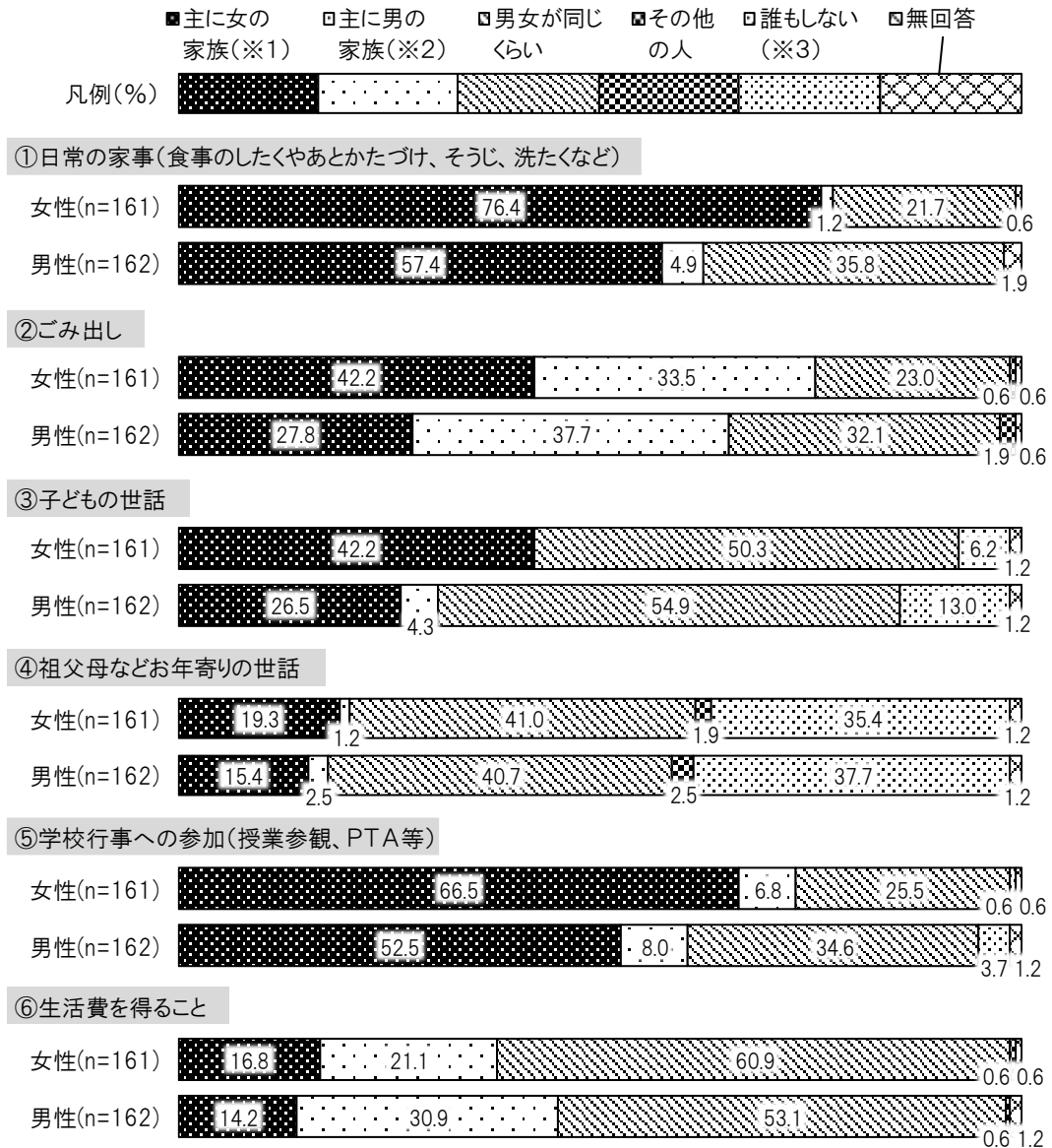
家庭内での役割分担については、「①日常の家事（食事のしたくやあとかたづけ、そうじ、洗たくなど）」「⑤学校行事への参加（授業参観、PTA等）」では「主に女の家族（母親や姉妹、祖母など）」が高い割合を占めている。一方、「②ごみ出し」「⑥生活費を得ること」では「主に男の家族（父親や兄弟、祖父など）」の割合が高くなっている。

また、「男女が同じくらい」の割合が高い順に「⑥生活費を得ること」（56.8%）、「③子どもの世話」（52.3%）、「④祖父母などお年寄りの世話」（40.7%）となっている。



※1:主に女の家族(母親や姉妹、祖母など)
 ※2:主に男の家族(父親や兄弟、祖父など)
 ※3:誰もしない(する必要がない)

全ての項目において、女性は男性に比べ「主に女の家族（母親や姉妹、祖母など）」の割合が高く、男性は「①日常の家事（食事のしたくやあとかたづけ、そうじ、洗たくなど）」「⑤学校行事への参加（授業参観、PTA等）」などで「男女が同じくらい」の割合が女性を上回っている。



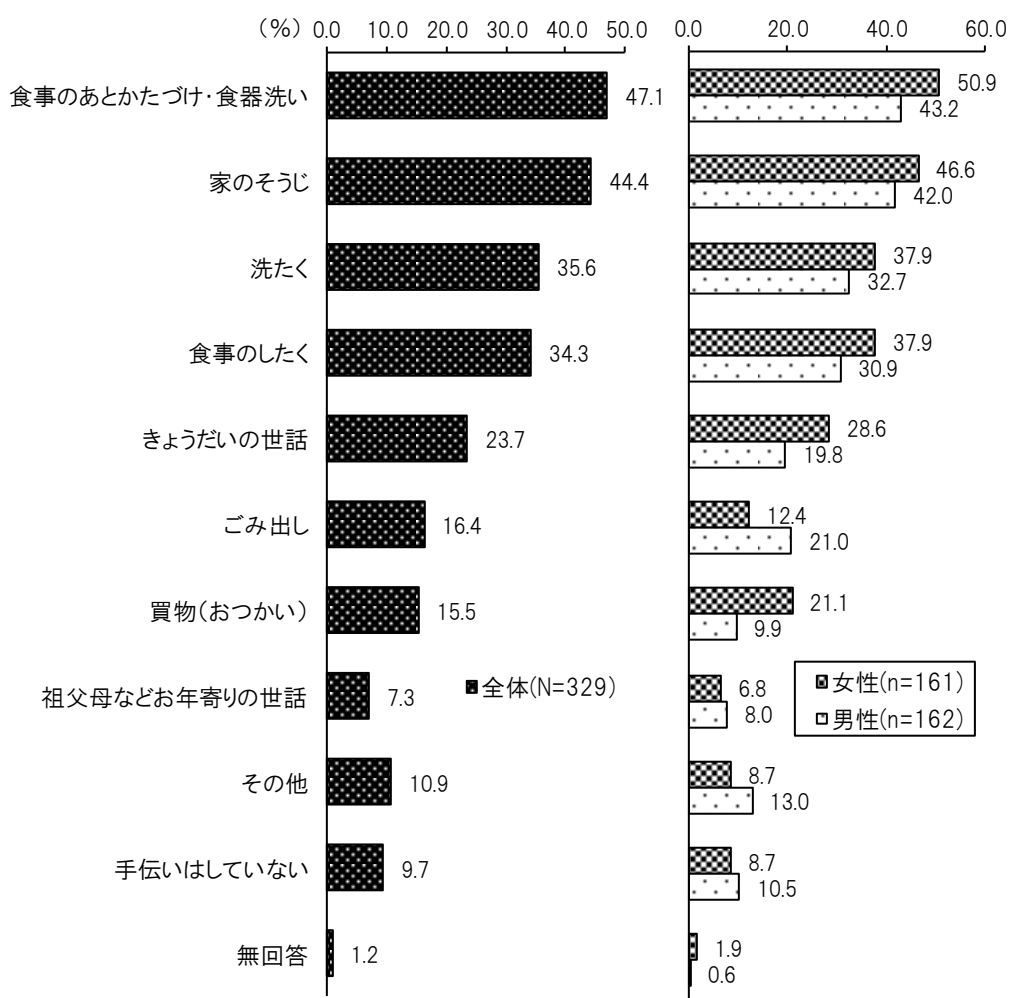
※1:主に女の家族(母親や姉妹、祖母など)
 ※2:主に男の家族(父親や兄弟、祖父など)
 ※3:誰もしない(する必要がない)

8 家での手伝い

問10 あなたは、家の手伝いをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

家での手伝いについては、「食事のあとかたづけ・食器洗い」の割合が47.1%と最も高く、次いで「家のそうじ」（44.4%）、「洗たく」（35.6%）、「食事のしたく」（34.3%）、「きょうだいの世話」（23.7%）の順となっている。一方、約1割（9.7%）は「手伝いはしていない」と回答しており、「その他」では「風呂掃除」「ペットの世話」などの回答がみられた。

性別では、女性で割合の高い項目が多くみられ、特に「買物（おつかい）」の割合が男性を大きく上回っている。また、男性は女性に比べ「ごみ出し」の割合が高くなっている。



家族状況別でみると、きょうだいがいる家庭で「きょうだいの世話」、ひとり親家庭で「ごみ出し」「買物（おつかい）」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

単位 (%)	食器洗いのあとかたづけ	家のそうじ	洗たく	食事のしたく	きょうだいの世話	ごみ出し	買物（おつかい）	祖父母などお年寄りの世話	その他	手伝いはしていない
全体(N=329)	47.1	44.4	35.6	34.3	23.7	16.4	15.5	7.3	10.9	9.7
【家族状況別】										
祖父母がいる家庭(n=86)	44.2	40.7	27.9	36.0	22.1	15.1	17.4	9.3	9.3	14.0
きょうだいがいる家庭(n=277)	48.4	45.5	36.1	35.4	27.8	16.6	14.4	7.2	9.7	9.0
ひとり親家庭(n=61)	37.7	45.9	36.1	32.8	19.7	26.2	21.3	8.2	8.2	11.5

9 家事を手伝う時間

【問 10 で「1～9（手伝いをしている）」と答えた方におたずねします。】

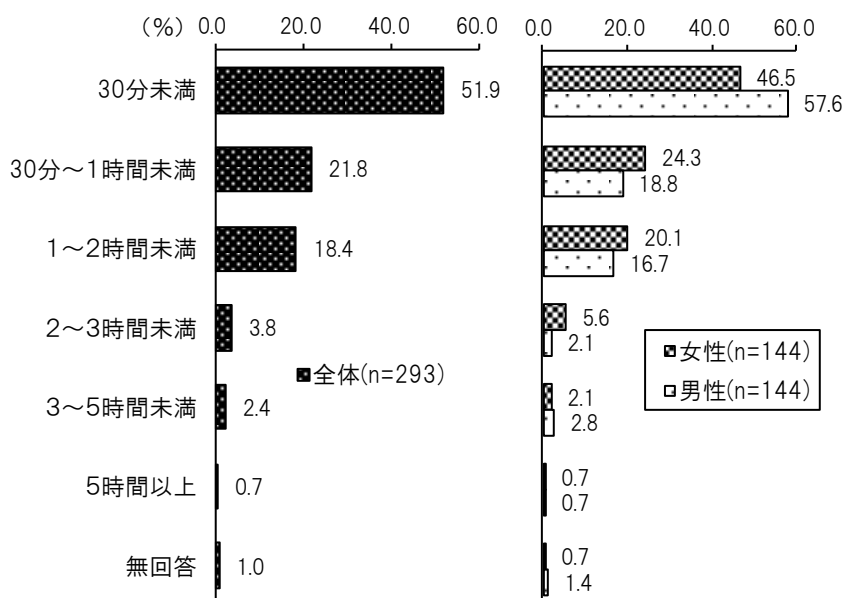
問 11 あなたは、ふだん、家事の手伝いを1日にどのくらいしていますか。（○印1つ）

※ 家事とは、食事のしたくや洗たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父母の世話なども含みます。

家事を手伝う時間については、「30分未満」の割合が51.9%と最も高く、次いで「30分～1時間未満」（21.8%）、「1～2時間未満」（18.4%）の順となっている。

性別では、男性は「30分未満」の割合が女性を大きく上回っている。

家族状況別でみると、祖父母がいる家庭で「30分未満」、ひとり親家庭で「1～2時間未満」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



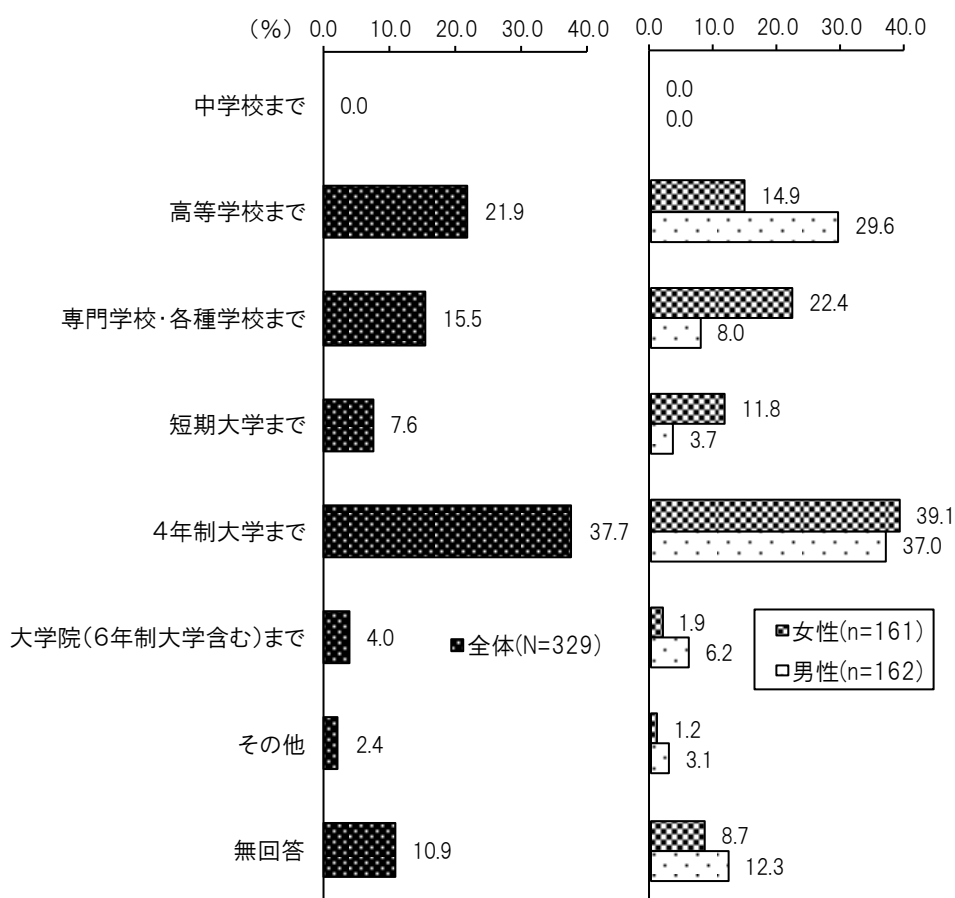
単位 (%)	30分未満	30分～1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～5時間未満	5時間以上
全体 (n=293)	51.9	21.8	18.4	3.8	2.4	0.7
【家族状況別】						
祖父母がいる家庭 (n=74)	58.1	14.9	17.6	6.8	1.4	0.0
きょうだいがいる家庭 (n=248)	50.8	22.2	19.4	3.6	2.0	0.8
ひとり親家庭 (n=53)	41.5	18.9	32.1	5.7	1.9	0.0

10 希望する進路

問 12 あなたの希望する進路は次のうちどれですか。(○印1つ)

希望する進路については、「4年制大学まで」の割合が37.7%と最も高く、次いで「高等学校まで」(21.9%)、「専門学校・各種学校まで」(15.5%)、「短期大学まで」(7.6%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べ「専門学校・各種学校まで」「短期大学まで」の割合が高く、男性は「高等学校まで」の割合が女性を大きく上回っている。

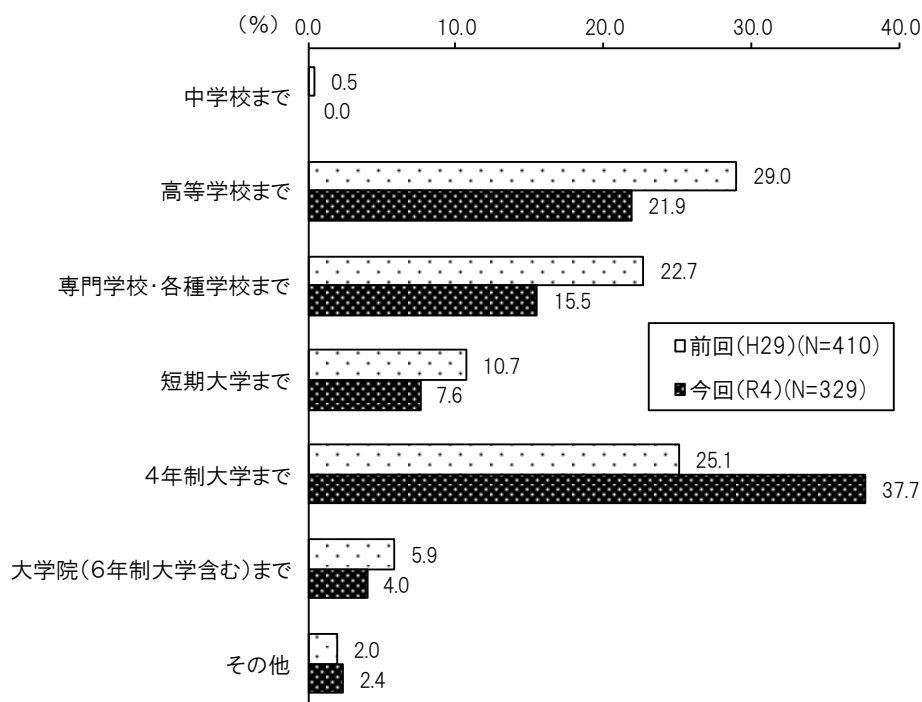


家族状況別でみると、ひとり親家庭で「高等学校まで」「専門学校・各種学校まで」の割合が他の層に比べて高くなっている。

文系・理系タイプ別では、文系タイプで「短期大学まで」、どちらともいえないと回答した層で「高等学校まで」の割合がそれぞれ高くなっている。

単位 (%)	中学校まで	高等学校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	4年制大学まで	大学院(6年制大学含む)まで	その他
全体(N=329)	0.0	21.9	15.5	7.6	37.7	4.0	2.4
【家族状況別】							
祖父母がいる家庭(n=86)	0.0	15.1	11.6	9.3	43.0	4.7	1.2
きょうだいがいる家庭(n=277)	0.0	21.3	15.2	7.6	39.4	3.6	1.8
ひとり親家庭(n=61)	0.0	27.9	21.3	4.9	29.5	4.9	0.0
【文系・理系タイプ別】							
文系タイプ(n=94)	0.0	16.0	21.3	10.6	43.6	2.1	0.0
理系タイプ(n=92)	0.0	16.3	18.5	3.3	41.3	5.4	4.3
どちらともいえない(n=41)	0.0	39.0	9.8	7.3	26.8	4.9	0.0
わからない(n=99)	0.0	26.3	10.1	8.1	34.3	4.0	4.0

【参考／時系列推移】



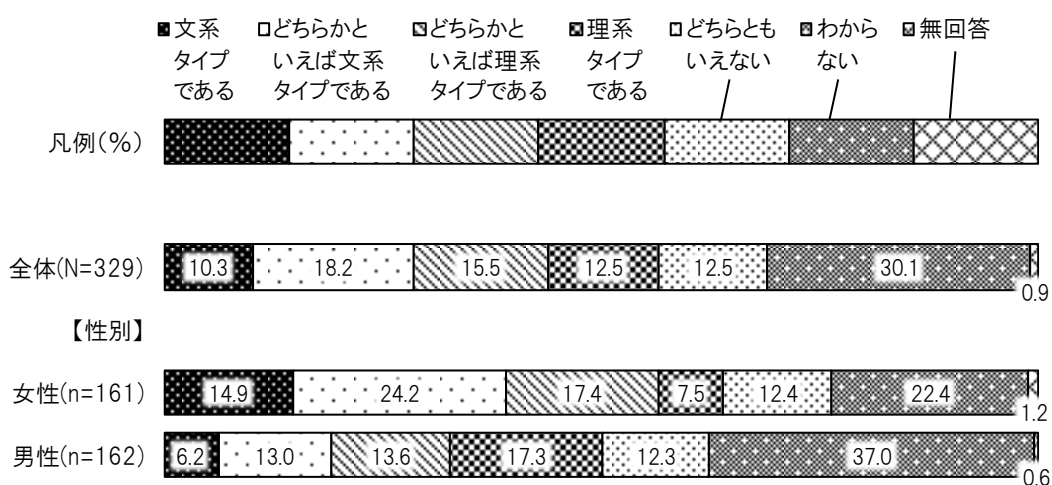
注:「4年制大学まで」の前回調査結果は、「文系大学(4年制)まで」「理系大学(4年制)まで」の合計値

11 文系・理系タイプ

問 13 あなたは自分のことを文系タイプだと思いますか、理系タイプだと思いますか。
(○印1つ)

文系・理系タイプについては、「文系タイプである」が10.3%、「どちらかといえば文系タイプである」が18.2%、合計で28.5%が『文系タイプ』と回答している。一方、「理系タイプである」(12.5%)、「どちらかといえば理系タイプである」(15.5%)を合計した『理系タイプ』は28.0%となっている。一方、約3割(30.1%)は「わからない」と回答している。

性別では、女性は『文系タイプ(合計)』の割合が男性を大きく上回っている。

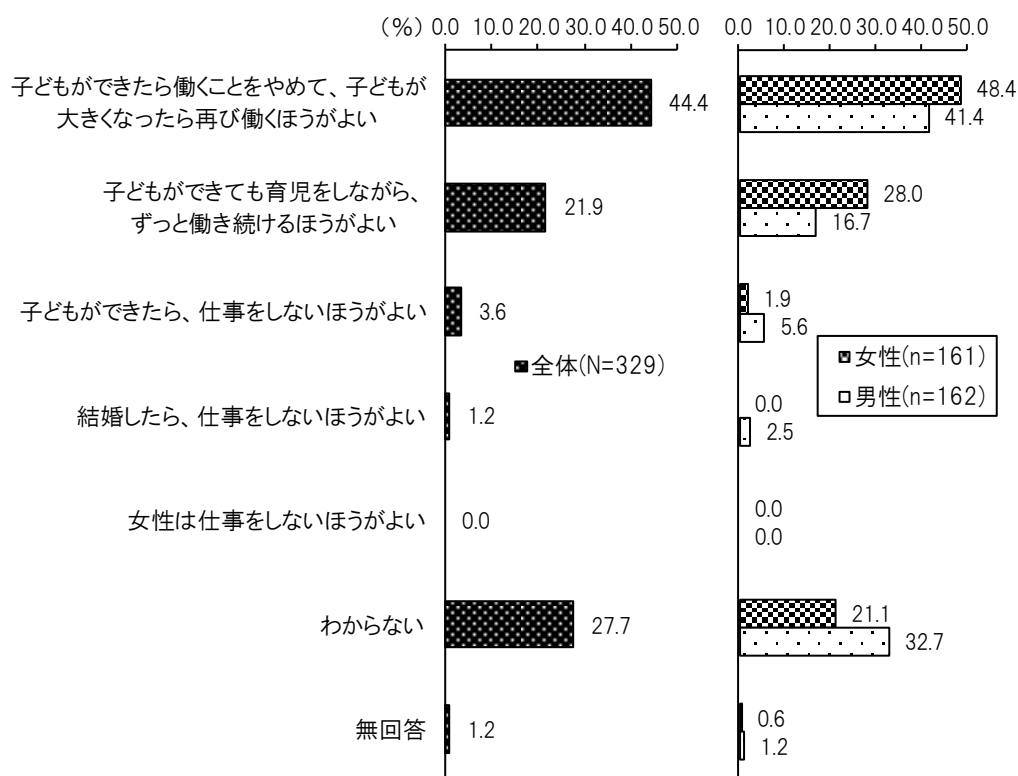


12 望ましい女性の働き方

問 14 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いますか。（○印1つ）

望ましい女性の働き方については、「子どもができたら働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい」の割合が44.4%と最も高く、次いで「子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい」が21.9%で続いている。

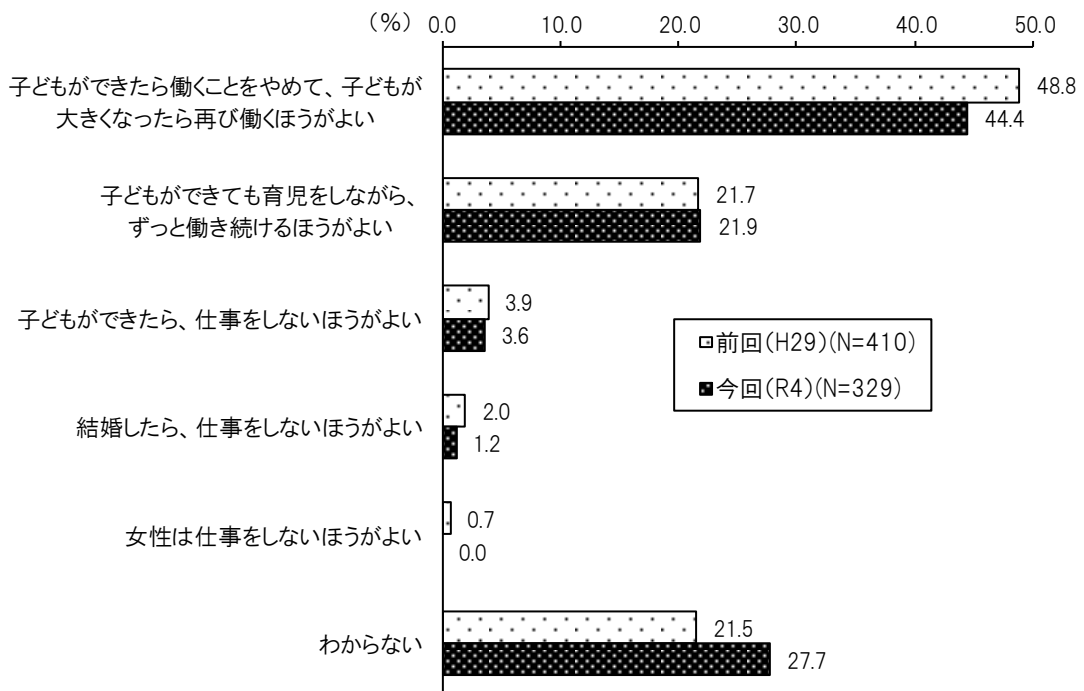
性別では、女性は「子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい」の割合が男性を大きく上回っており、男性は女性に比べ「わからない」の割合が高くなっている。



家族状況別でみると、祖父母がいる家庭で「子どもができれば働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	再び働くほうがよい	子どもができれば働くことをやめて、子どもが大きくなったら働くことをや	いらずと働き続けるほうがよい	子どもができて育児をしながら、仕事をしな	い子どもができれば、仕事をしな	が結いしたら、仕事をしな	女性が仕事をしないほうがよい	わからない
全体(N=329)	44.4	21.9	3.6	1.2	0.0	27.7		
【家族状況別】								
祖父母がいる家庭(n=86)	51.2	19.8	4.7	2.3	0.0	20.9		
きょうだいがある家庭(n=277)	43.7	23.5	3.6	1.1	0.0	27.1		
ひとり親家庭(n=61)	47.5	24.6	8.2	1.6	0.0	16.4		

【参考／時系列推移】

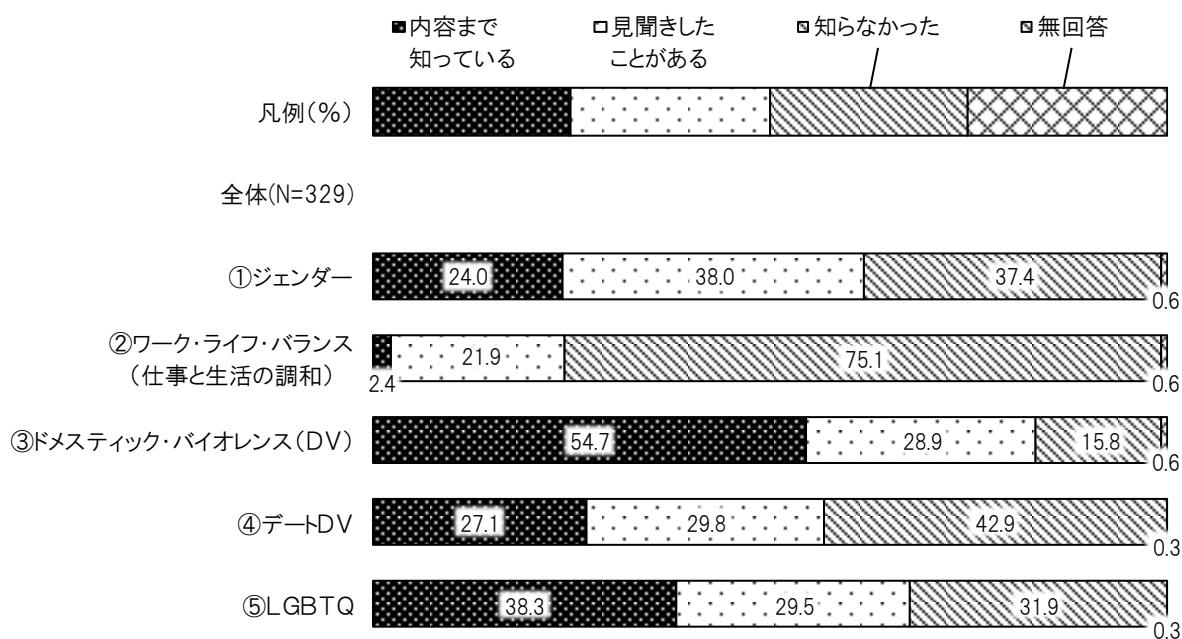


13 用語の認知状況

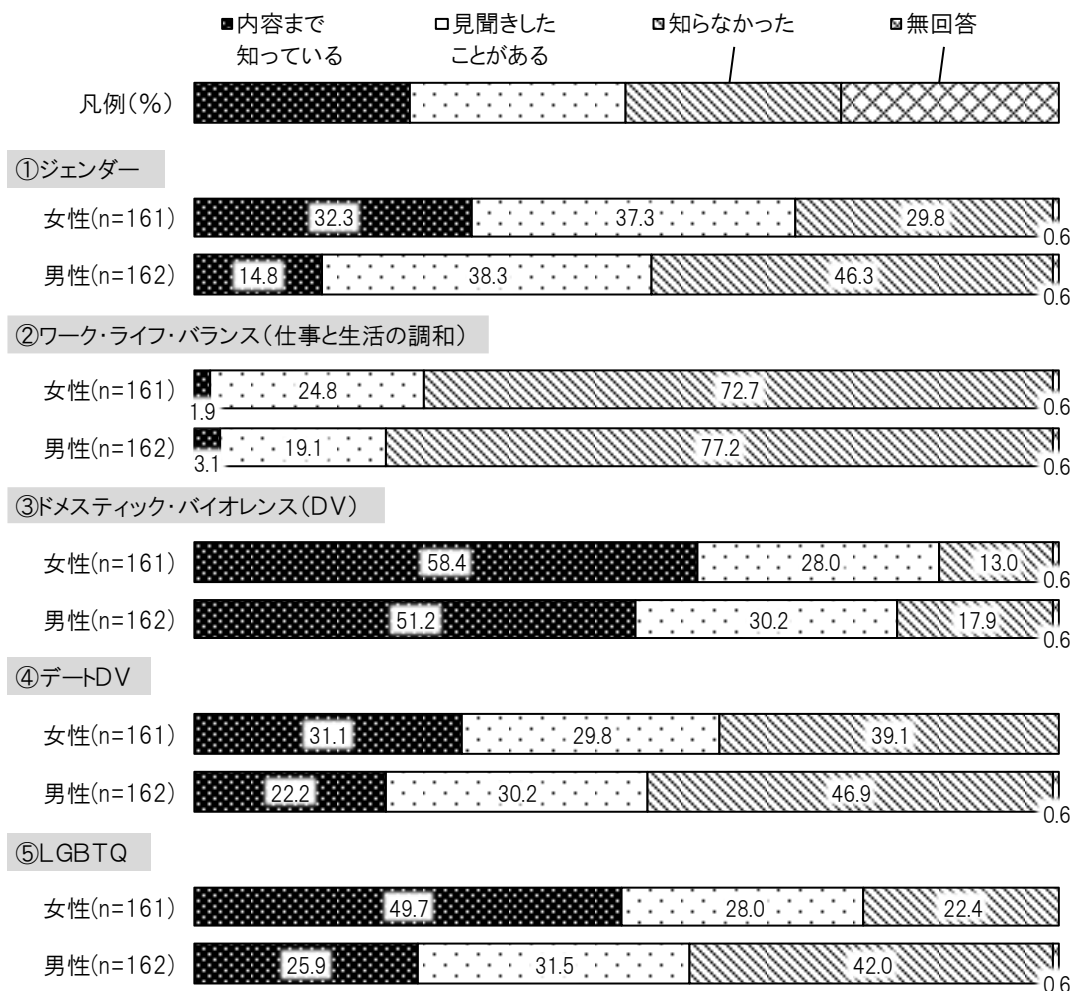
問 15 あなたは、次の言葉の意味を知っていますか。(○印1つずつ)

用語の認知状況については、「内容まで知っている」の割合が高い順に「③ドメスティック・バイオレンス(DV)」(54.7%)、「⑤LGBTQ」(38.3%)となっている。

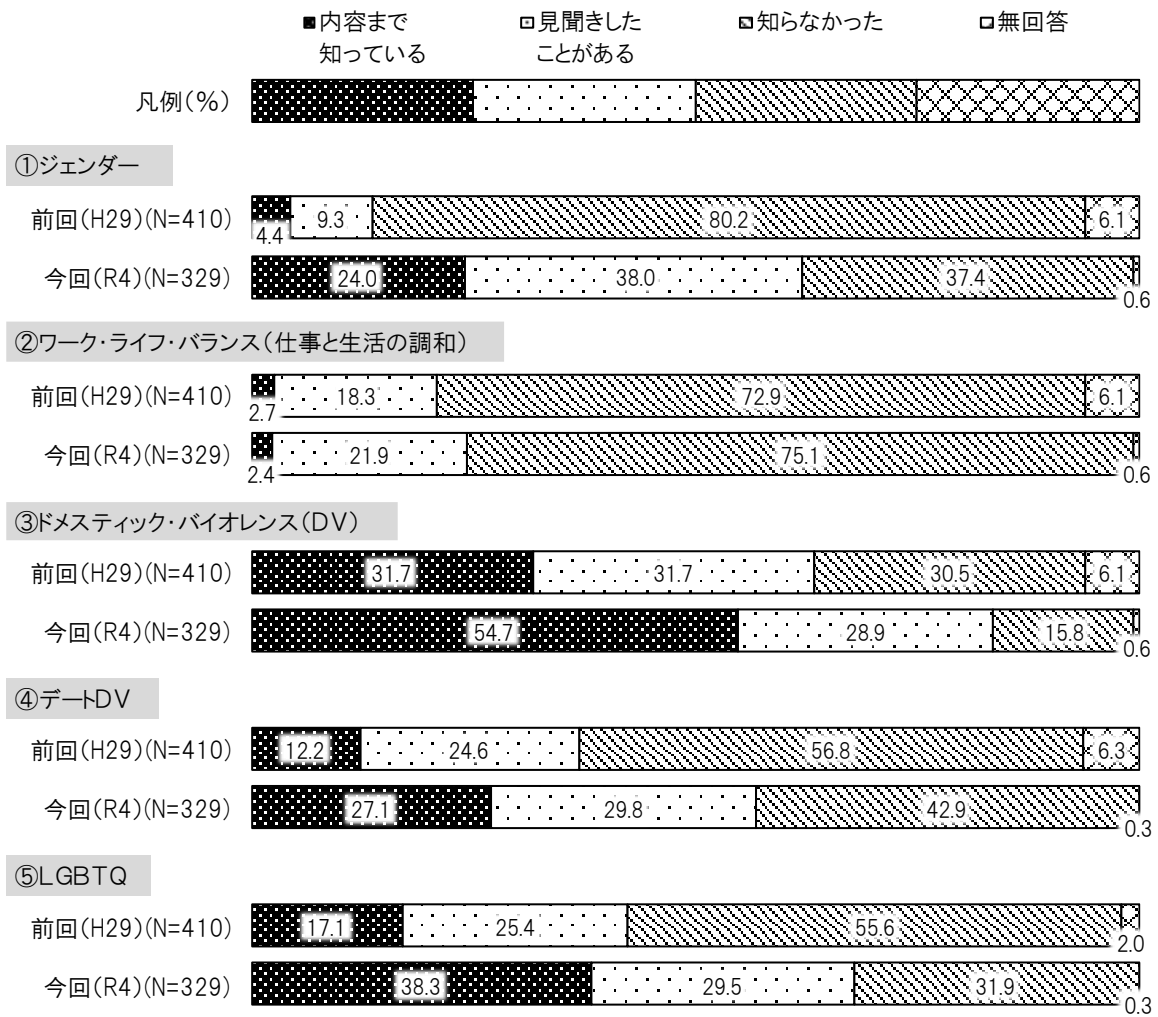
一方、「知らなかった」の割合が高い順に「②ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」(75.1%)、「④デートDV」(42.9%)、「①ジェンダー」(37.4%)となっている。



性別では、女性は「①ジェンダー」「⑤LGBTQ」で「内容まで知っている」の割合が男性を大きく上回っており、男性は全ての項目において「知らなかった」の割合が女性を上回っている。



【参考／時系列推移】

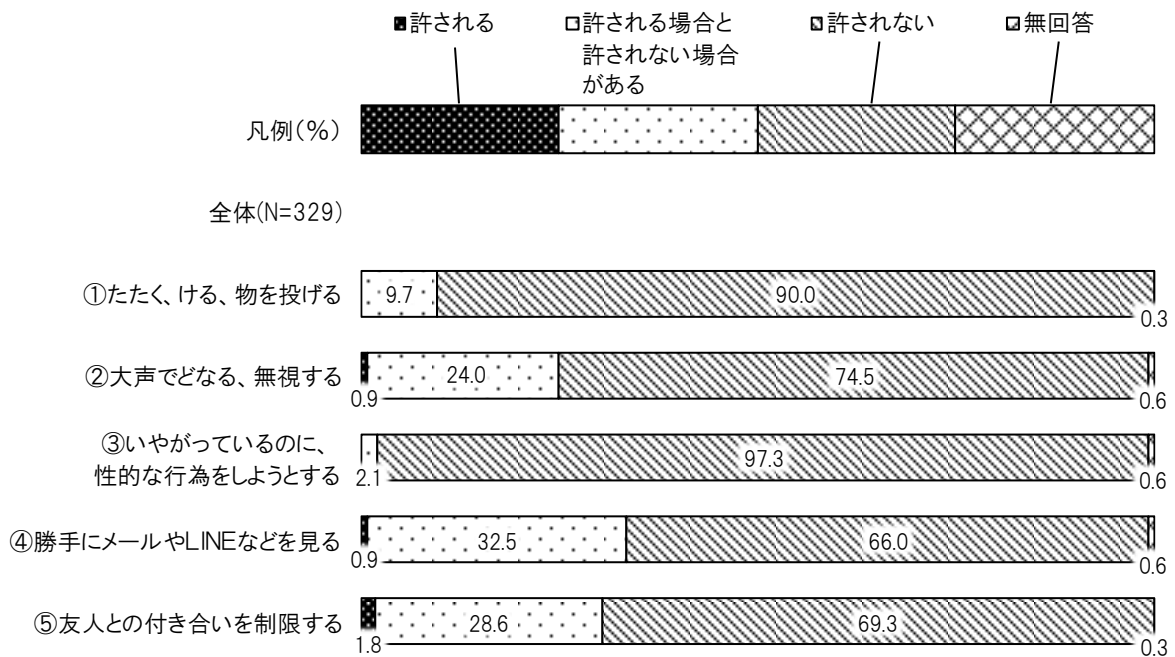


14 暴力の許容範囲について

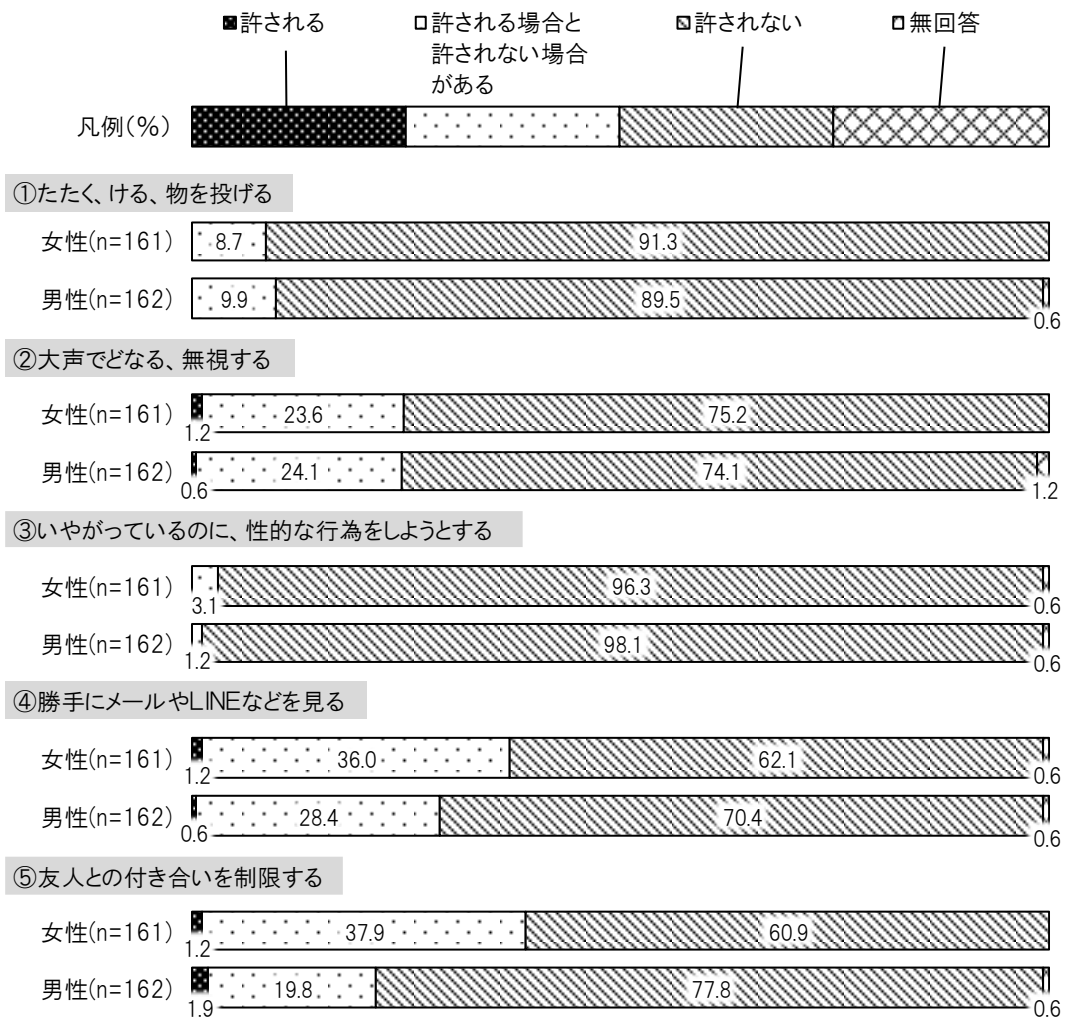
問 16 あなたは、恋人など親密な関係の人に対して、次のような行動は許されると思いますか。（○印1つずつ）

暴力の許容範囲については、「許されない」の割合が高い順に「③いやがっているのに、性的な行為をしようとする」（97.3%）、「①たたく、ける、物を投げる」（90.0%）となっている。

また、「許される場合と許されない場合がある」の割合が高い順に「④勝手にメールやLINEなどを見る」（32.5%）、「⑤友人との付き合いを制限する」（28.6%）、「②大声でどなる、無視する」（24.0%）となっている。



性別では、女性は「④勝手にメールやLINEなどを見る」「⑤友人との付き合いを制限する」で「許される場合と許されない場合がある」の割合が男性を上回っている。



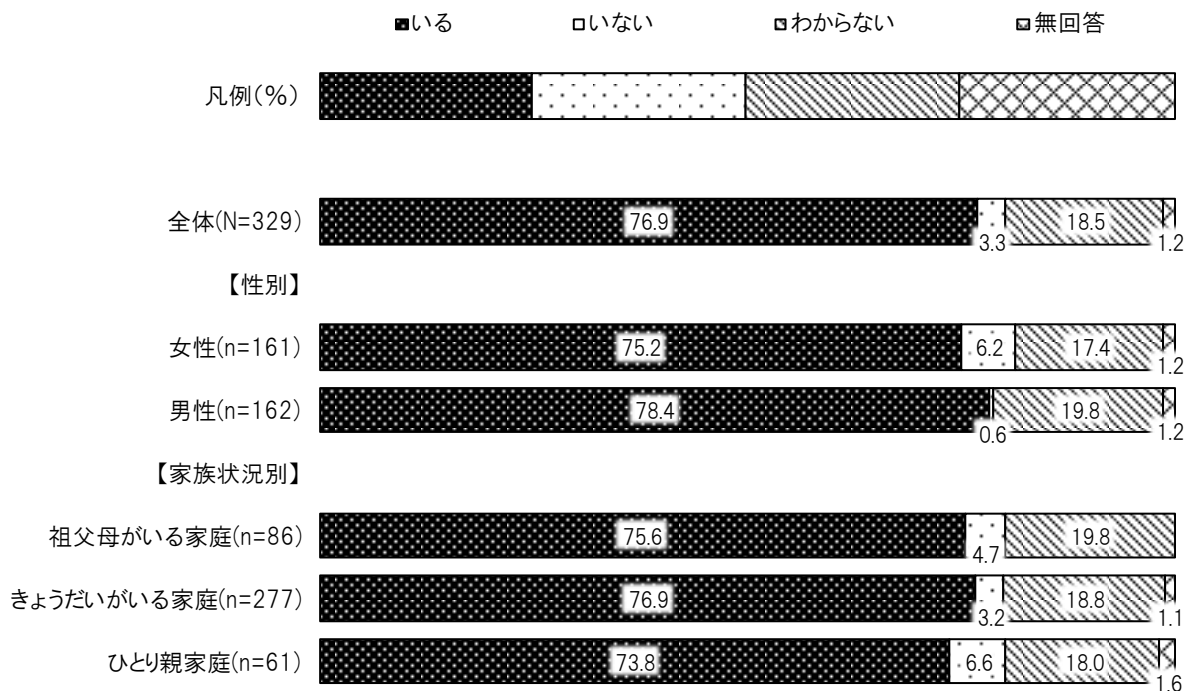
15 悩みに対する相談相手の有無

問 17 あなたには、困っているときに悩みを相談できる人がいますか。（○印1つ）

悩みに対する相談相手の有無については、「いる」が 76.9%、「いない」が 3.3%、「わからない」が 18.5%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「いない」の割合が高くなっている。

家族状況別では、大きな差はみられない。



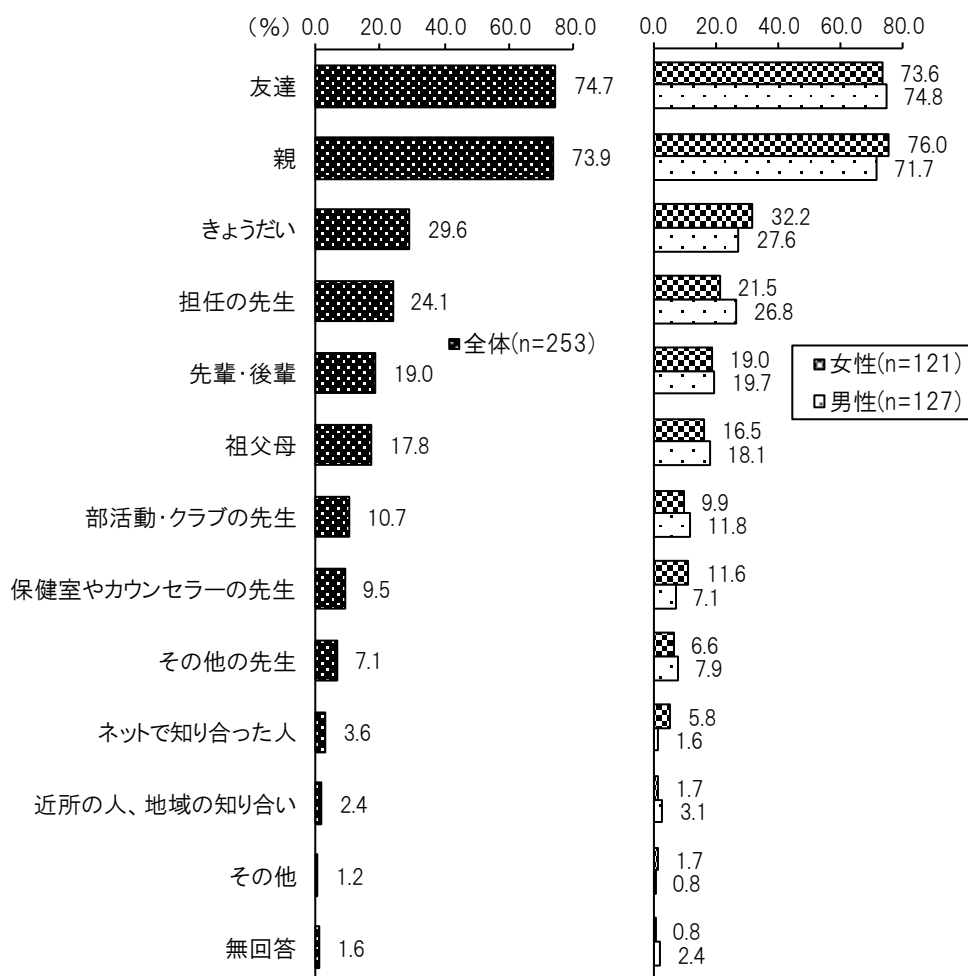
16 悩みを相談できる人

【問 17 で「1」と答えた方におたずねします。】

問 18 悩みを相談できる人は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

悩みを相談できる人については、「友達」の割合が 74.7%と最も高く、ほぼ並んで「親」（73.9%）が続き、以下「きょうだい」（29.6%）、「担任の先生」（24.1%）、「先輩・後輩」（19.0%）の順となっている。

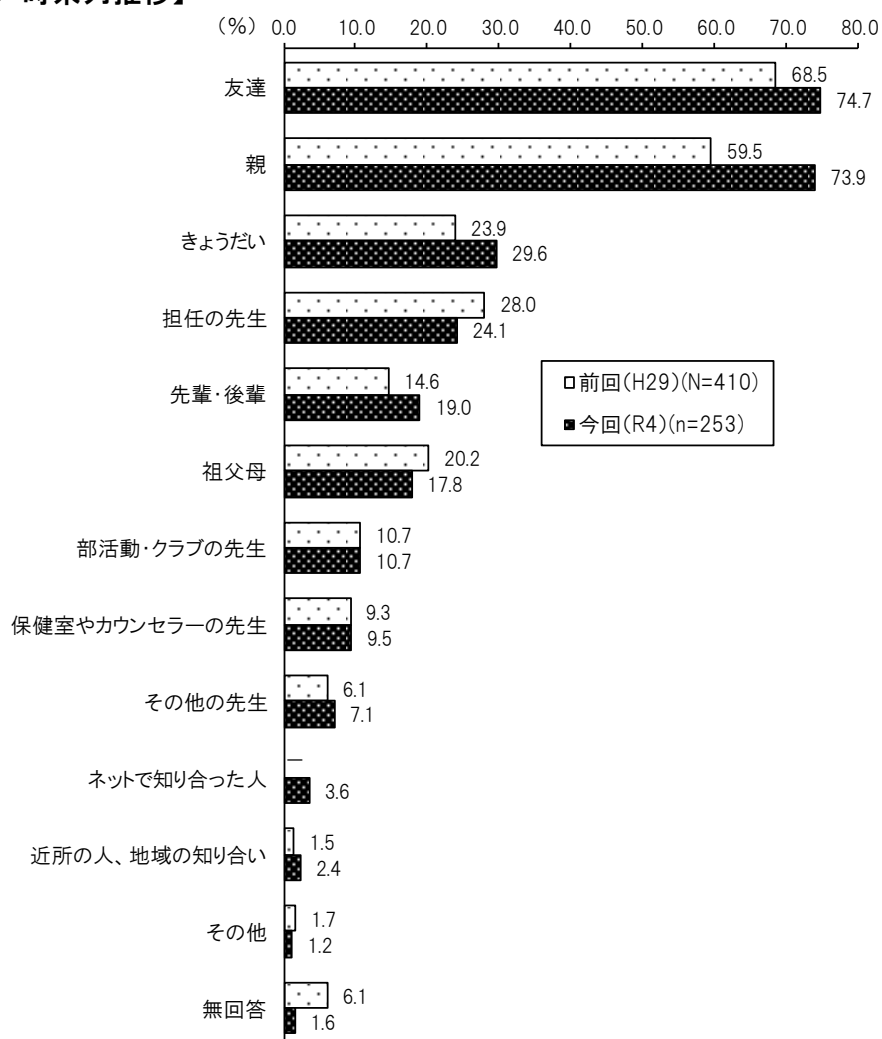
性別では、男性は女性に比べ「担任の先生」の割合が高くなっている。



家族状況別でみると、祖父母がいる家庭で「担任の先生」、ひとり親家庭で「祖父母」の割合がそれぞれ他の層に比べてやや高くなっている。

単位 (%)	友達	親	きょうだい	担任の先生	先輩・後輩	祖父母	生部活動・クラブの先生	保健室やカウンセラーの先生	その他の先生	ネットで知り合った人	近所の人、地域の知り合い	その他
全体(n=253)	74.7	73.9	29.6	24.1	19.0	17.8	10.7	9.5	7.1	3.6	2.4	1.2
【家族状況別】												
祖父母がいる家庭(n=65)	76.9	73.8	32.3	32.3	15.4	21.5	10.8	10.8	7.7	1.5	7.7	0.0
きょうだいがいる家庭(n=213)	77.0	73.2	33.3	23.0	19.7	18.8	10.3	9.9	6.6	3.8	2.3	1.4
ひとり親家庭(n=45)	77.8	71.1	24.4	28.9	17.8	24.4	11.1	8.9	4.4	6.7	4.4	0.0

【参考／時系列推移】



注1：前回調査では、全員を母数としている。

注2：前回調査では、「ネットで知り合った人」の選択肢はない。

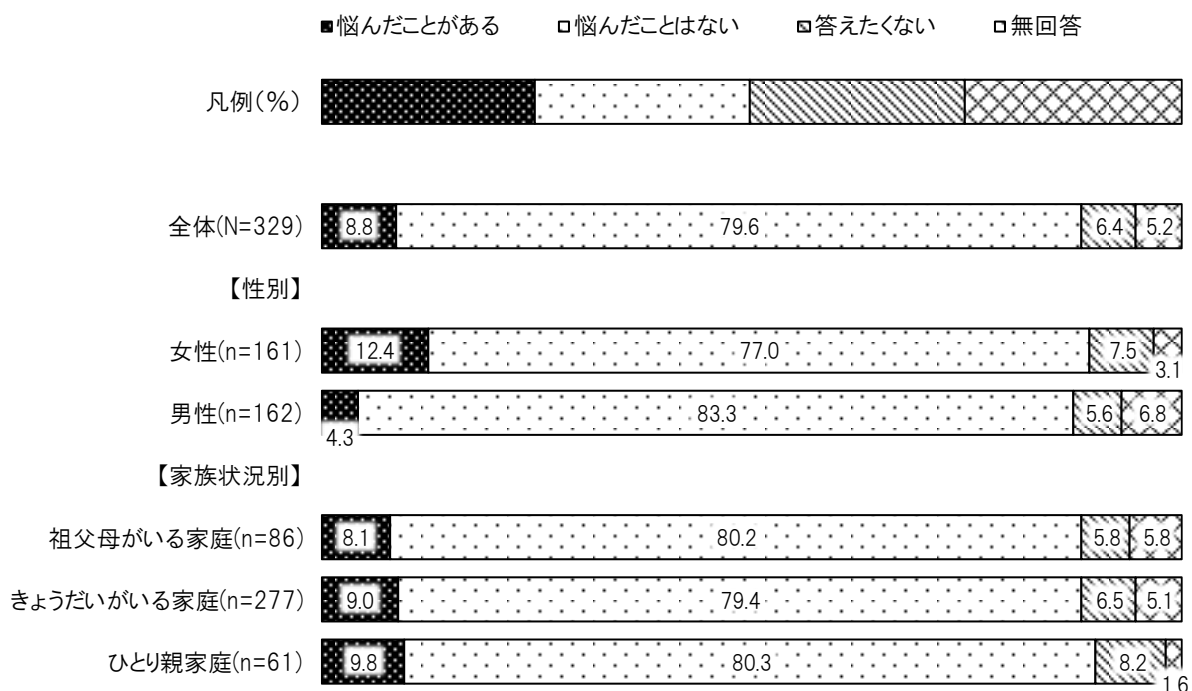
17 性に関する悩みの有無

問 19 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は恋愛対象の性などで悩んだことがありますか。(○印1つ)

性に関する悩みの有無については、「悩んだことがある」が8.8%、「悩んだことはない」が79.6%となっている。

性別では、女性は男性に比べ「悩んだことがある」の割合が高くなっている。

家族状況別では、大きな差はみられない。



18 男女共同参画社会について（自由記述回答）

問 20 男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて自由に書いてください。

男女共同参画について、意見・要望等を自由記述方式で尋ねたところ、以下のような意見がみられた。なお、掲載にあたり、誤字等一部修正を行っている。

1 男女共同参画の意識づくりについて

- ・「男」「女」と決めつけない。性別に関係なく、自分の好きなことをできるようにする。その人の「好き」をからかったり、否定したりしない。（女性）
- ・「男だから～しなさい」や「女だから～しなさい」という決めつけは、自分が言われたら嫌なので、大人になっても言わないようにしたい。（女性）
- ・「男だから」「女だから」これしなさいと言われて、行動しないぐらいの選択肢があるといい。（女性）
- ・「男だから」や「女だから」と決めつけている言葉を言わないようにする。性別にとらわれず、自分のしたいことをする。（女性）
- ・「女だから〇〇」とか「男だから〇〇」というのはやめて、男女が同じ基準になるべきだと思う。（女性）
- ・「〇歳以上が△社で働ける」や「男（女）だから〇〇しなさい」が言われたいこと。一人一人が思い合って生活できる環境。（女性）
- ・女だから～、男だから～と性別で決めないで、男女自由にしたいことができるようにする。服を買うとき「女だから、女ものの服の方から選んで」と、性別で決めつけないでほしい。（女性）
- ・男性だから～、女性だから～という言い方、考え方を違うものに変えていきたい。（女性）
- ・「LGBTQ」の人たちを白い目で見ている人がいるので、それをやめてほしい。（女性）
- ・LGBTQを普通のことにする。（当たり前）（女性）
- ・今まだ残っている男尊女卑の風習をなくす。認め合う。（女性）
- ・男が仕事をしてお金を稼ぐ、女が家事をするという、当たり前だと思っている考え方を変えていきたい。男性も女性も好きな仕事をしたり、家事をしたり、同じ性別の人を好きになってもいいと思う。女性が男性が着るような服を着れるようにしたり、男性もかわいく着飾ったりしてもいいと思う。まず偏見を持ってしまっている人に「その考えは、昔は正しかったのかもしれない。だけど、社会が変わっていく今、考えを私たちは変えないといけない、とキチンと伝えた方がいいと思う。（女性）
- ・男が女を自分より下の生き物だと思わない。（女性）
- ・男だから、女だからということは言わないようにする。その人の個性や好きなものを否定しない。一人一人を大切にし、外見などで判断しない。（女性）
- ・男だから、女だからという言葉を使わないようにしたり、見下したりしないようにする。（女性）
- ・男の仕事、女の仕事など、区別することをやめる。（女性）

- ・男だから〇〇や女だから〇〇といったようなことはせず、男女必ずどっちも同じ人間なのだから、平等な考え方をできる人が増えてほしい。（女性）
- ・男だからこうしなくてはならない、女だからこうしなくてはならないと、決めつけるのではなく、一人一人尊重しながら生活していく。（女性）
- ・男だけできて女はできない、女だけできて男はできないという仕事などを減らしていくこと。男女平等に物事を考えること。（女性）
- ・男の人、女の人など性別は関係なく、平等に向き合う。（女性）
- ・男も女も関係なく、平等に何でもできるようになると良いと思う。（女性）
- ・男らしく、女らしく生きるのではなく、自分らしく生きる。（女性）
- ・女だから、男だからというのをなくしたい。（女性）
- ・女の子と結婚できるようにしてほしい。（女性）
- ・固定概念にとらわれず、男女が好きなことができるようにする。（女性）
- ・固定観念を捨てる。昔の人の考えに従わない。（女性）
- ・差別がなくなる。（女性）
- ・パートナー制度や戸籍上同じ性別の人たちの結婚を全国で認められるようにする。（女性）
- ・性別で男だから、女だからではなく、平等に接する。（女性）
- ・差別しない。（女性）
- ・性別といっても、心の性別と体の性別は違うので、その区別はやってほしい。（女性）
- ・性別にかかわらず、自由に生活できるようにする。（女性）
- ・性別は関係なく、職業や生活をしていきたいと思いました。（女性）
- ・立場が、男性が上、女性が下という社会をなくす。男だから、女だからということなくしたい。男女平等。女性の方が、悩むこともたくさんあって嫌。（女性）
- ・誰もが性別を気にしなくても過ごせるように、みんなが意識する。（女性）
- ・誰もが平等に生活、仕事をしていけるようにする。（女性）
- ・男子だから、女子だからという認識をなくす。（女性）
- ・男子、女子といった区別や言葉も差別になっているので、言葉を直していく必要があると思う。（女性）
- ・男女にかかわらず、お互いすることを助け合う。（女性）
- ・人の優先順位（上下関係）をつけない。（女性）
- ・男だから、女だからという考えをやめる。（女性）
- ・男女関係なく好きなことができる。（女性）
- ・男女関係なく平等にして、皆が不安にならないようにしたらいいと思います。（女性）
- ・男女差別をしない。女が男らしく、男が女らしく、という人がいてもいいと思えるようになる。男女関係なく仲良くする。（女性）
- ・男女差別をなくし、自分のやりたいことをそのままできる社会をつくりたい。（女性）
- ・性別にかかわらず、自由な服や髪型にしてもよい。（女性）
- ・男女でいろいろ指定されず、自由に選ぶことができるようになる。（女性）
- ・男女にかかわらず、男の人、女の人が自由に動きやすい自信の持てるような世界にしたい。（女性）

- ・男女の差別をなくし、したいことをできるように。（女性）
- ・男女の職業差別や家庭内での立場は、男女共、平等にする。（女性）
- ・男女平等で、自分が生きたいように生きる。（女性）
- ・男性がやっている、女性がやっているのはおかしいと言うのは間違っている。（女性）
- ・男性だから、女性だからと制限されるのではなく、平等に接する。（女性）
- ・男性は男なんだから～するな、女性は女なんだから～しなさいなど、男性や女性に制限をつける行為を変えていったら良いと思う。（女性）
- ・女の子らしくをなくしてほしい。女の子だからといって、行動を強要してほしくない。（女性）
- ・同性同士の恋愛も異性同士の恋愛と同じくらい、普通で当たり前な社会になってほしい。差別や偏見もないようになってほしい。（女性）
- ・同性の人が結婚するのを認める。（女性）
- ・友達や知り合いから同性愛者なんだよねと言われても、普通に接する。大きさに優しく対応してしまうと、よけい差別のように感じるかもしれない。（女性）
- ・一人一人が男女の区別をしないことを気をつけるのではなく、社会全体で受け入れる体制をつくること。（女性）
- ・普段の生活から差別をしないようにしたり、平等に暮らす。（女性）
- ・私は男女が平等になればいいとか、性別について何も思わない。でも、男女が平等になることを望んでいる人や自分の性別が分からなかったり、同性で付き合いたいと思っている人は、少数だがいる。だから、その人たちの意見を聞いたほうが良いと思う。アメリカはそうなっている。（女性）
- ・LGBTQやジェンダー（ジェンダー平等）についての理解を深める。（男性）
- ・相手について、深く探らない。その人の行動には深く入らない。（男性）
- ・相手の意見を尊重する。（男性）
- ・男だから〇〇、女だから〇〇という間違っただけの考えを壊す。（男性）
- ・男だから女だからといって、性別による差別をしない。（男性）
- ・男だからとか、女だからなどはなくす。（男性）
- ・男はこう、女はこうという気持ちをなくし、平等に接する。（男性）
- ・個人の選択を認め合う。（男性）
- ・苦労や思っていることを互いに理解し合う。（男性）
- ・差別しない。（男性）
- ・女性だから家事をする、男性だから働くなどの考えをなくし、女性でも男性でも働けたりする考えを世の中の人に広めていきたい。（男性）
- ・女性だけや男性だけをなくす。（男性）
- ・女性用、男性用の服をなくす。（男性）
- ・性別が〇〇だからとか、性別での区別、差別をなくすようにする。性別で決めつけないようにする。（男性）
- ・性別に関係なく、生活できるようにする。（男性）
- ・性別でこれをやれ、あれをやれとは言わないようにした方がよいと思う。（男性）
- ・性別にかかわらず、相手が嫌がることをしない。（男性）

- ・性別に関係なく自由に生きれる社会。（男性）
- ・性別によって男の方が上、女の方が下という、考えをなくすべきだと思います。（男性）
- ・性別や男だから、女だからなどにとらわれずに、みんなが自由に生活できる社会に変えていきたい。（男性）
- ・男子、女子を差別せず、より良い暮らしにする。（男性）
- ・男子も女子も尊重し合えたら良いと思います。（男性）
- ・男女、同じことをする。（男性）
- ・男女が不平等にならないようにする。（男性）
- ・男女関係なく、いろんな人がいろんなことをすればいいと思う。（男性）
- ・男女関係なく、一人の人間として接すべき。（男性）
- ・男女、全ての人の権利が平等になる。（男性）
- ・男女問わずに、自分のためになることや相手のためになることをする。（男性）
- ・男女平等がとても大事。（男性）
- ・人を見た目で判断しない。（男性）
- ・偏見をなくす。（男性）
- ・昔の性別のしきたりをなくして、自由にやることができるようにする。性別で何かを分けるのではなく、そんなことをしない。（男性）
- ・昔みたいに男は仕事、女は家事のような考え方をなくした方が良いと思う。（男性）
- ・同性婚を法律で認める。（性別不明）
- ・性別を書く欄を自由にする。（性別不明）

2 男女平等の視点に立った教育の推進について

- ・異性との関わり方が分からないので、授業で学ぶ。（女性）
- ・女だからとか男だからなどと言うのがなくなり、自由に将来のことを選びたい。制服で女子はリボン、男子はネクタイ、女子はスカート、男子はズボンっていうのをなくしてほしい。（女性）
- ・教育が男女同等となる。（女性）
- ・女子でも学ランを着ていいようにしたい。（女性）
- ・性の多様性などについて、学ぶことができる場をつくる。（女性）
- ・制服が女はスカート、男はズボンで、それが嫌な人もいるのでどの学校も、自分の好きなように選べるようにしたらいいと思う。（女性）
- ・制服など、男女を決めずに自由に選べるようにする。「男子は～」「女子は～」という言い方をやめる。（女性）
- ・学校の制服を女子はスカート、男子はズボンをなくす。（女性）
- ・体育での男女の区別。席替えの隣や後ろ前が男。（女性）
- ・男性らしさ、女性らしさを求めないようにする。制服はどれでもいい。（女性）
- ・女の子だってネクタイや学ランを着てもいい。制服は女の子もズボンをはいてもいい。男の子だって、髪を伸ばしても結んでもいい。（女性）
- ・性別を問わず、好きな道へ進めるようにする。（男性）
- ・先生の男女差別。（男性）

3 市政等への多様な意見の反映について

- ・女性の政治家などを増やす。（女性）
- ・政治に女性を入れていく。（女性）
- ・政治面で女性が活躍できる場を増やす。（女性）
- ・政治は性別にかかわらずにしてもよい。（女性）
- ・女性の政治家もいていい。（女性）
- ・女性も政治に普通に参加できる。（男性）
- ・政治関係でもっと女性が活躍できるようにする。（男性）
- ・性別にかかわらず共同にするには、選ぶ人などが変わらないと社会の流れはそのまま。
（男性）
- ・性別にかかわらず、総理大臣になれるようにする。（男性）

4 事業所等における女性活躍推進の支援について

- ・男と女で給料の差がないようにする。（女性）
- ・男の方が上という考え方をやめて、男女が一緒に働けるようにする。（女性）
- ・職業を自由に選ぶ。（女性）
- ・給料をみんな平等にもらえるようにする。（性別にかかわらず）（女性）
- ・性別で職業を決めない。（女性）
- ・性別によって給料を変えないでほしい。（女性）
- ・男女がどの職業で働いてもおかしくないという考えを持つ。（女性）
- ・性別にかかわらず、好きに職業を選べるようにしたい。（女性）
- ・男女関係なく、好きな職業に就けること。（女性）
- ・力仕事で男女同じ給料、女性も働けるように。（女性）
- ・偏見をなくす。同じ給料。（女性）
- ・男女関係なく、職業が選べるようにする。（男性）
- ・職業を自由に選べる。（男性）
- ・全ての人の仕事が平等になると良い。（男性）
- ・性別にかかわらず、仕事上での給料を統一する。（男性）
- ・性別にかかわらず、自由に職業が選べるようになる。（男性）
- ・性別にかかわらず、給料を同じにする。（男性）
- ・性別に関係なく、自分のしたい仕事ができるようになる。（男性）
- ・男女が自由に職業を選べるようになる。（男性）
- ・男女関係なく、社会に貢献するために協力して働く。（男性）
- ・男女の給料を一緒にする。（男性）

5 仕事と子育て、介護の両立支援について

- ・男女の性別にかかわらず、平等に家事などを一緒にする。（女性）
- ・育児は女性だけではなく、男性も女性も一緒にする。（女性）
- ・今は女性のほとんどが子どもを産んだ後、仕事を休んでいるため、男性の育休も増えてほしい。（女性）
- ・男の人が多く仕事をしていると思い込んで、女の人に他のことを任せっきりにする人。同じ仕事で同じくらい働いているのに、家事を全部任せるのはダメだと思う。（女性）
- ・女だけでなく、男も家事をする。（女性）
- ・女でも仕事をしたり、男でも家事をしてもいいようにする。（女性）
- ・家事は男女でできる限り分担したり、仕事は家庭では男がやり、家事は女がやるという概念をなくし、反対のやり方も受け入れていくことが大切なんだと思う。（女性）
- ・家族で一緒に家事をする。家事を家族で分担する。（女性）
- ・女性だけが家事などを頑張るのではなく、男性も女性と一緒に頑張り、みんなが平等に生活できるようにする。（女性）
- ・女性だけでなく、男性も家事をする。（女性）
- ・性別に関係なく、自由に働ける。男性も女性と同じ量の家事をする。（女性）
- ・性別に関係なく、誰もが生活しやすいようにする。仕事や家事を分担したり、一緒にしたりする。（女性）
- ・男子、女子など性別に関係なく、一緒に家の手伝いをする。（女性）
- ・男女一緒に育児や家事をする。（女性）
- ・男女一緒に家事、育児をしながら働く。（女性）
- ・男女が一緒に家事をする。（女性）
- ・男女が一緒に働き、男女共に家事をする。性別で立場を変えない。（女性）
- ・男女が平等に家事をする。（女性）
- ・男女関係なく、仕事をしたり家事をする。（女性）
- ・男女関係なく平等に家事をする。女だから、男だからと決めつけない。（女性）
- ・男女で一緒に子育てしたり、家事をする。（女性）
- ・男女で家事や仕事、子育てをできるようにすること。男女関係なく、自由に生活できるようにすること。（女性）
- ・男女共に子どもの世話をすること。性別で決めつけず、男女共に仕事ができるようにする。（女性）
- ・男女の家事の量を同じにする。（女性）
- ・男性だけが働くのではなく、女性も働く。育児を平等にする。（女性）
- ・男性でも育休などが取りやすく、女性でも言いやすい社会。（女性）
- ・私の両親は夜遅くに帰って来ますが、父と母も同じ量、家事をしています。どちらかがいないと、片方はきっちり家事をしてくれます。男女関係なく、自分が住んでいるからには家事をしたらいいと思います。（女性）
- ・子どもを育てることを男女が一緒にする。（男性）
- ・男も女の家事を手伝う。（男性）
- ・女が家に入るだけじゃなくて、女も仕事ができてもいい。（男性）

- ・女の人が大体、掃除や家事をしているけど、男の人と一緒にやったらいいと思う。（男性）
- ・家事の分担を5：5の割合にする。（男性）
- ・家事や育児は男女が平等にする。（男性）
- ・家事を協力してする。（男性）
- ・家事を男性も性別にかかわらずする。（男性）
- ・家族の中で、性別だけでの上下関係をなくす。（男性）
- ・家庭で家事をするときは、それぞれの役割をきっちりと決めておく。（男性）
- ・家庭内での仕事の制限をなくす。（男性）
- ・全員が家事を分担してやる。（男性）
- ・性別にかかわらず、男女一緒に家事をする。（男性）
- ・男女と一緒に育児をする。（男性）
- ・男女と一緒に家事をする。（男性）
- ・男女が協力して、負担が偏らないようにする。（男性）
- ・男女が平等に過ごせるような家庭をつくっていく。（男性）
- ・男女協力しながら生活していく。（男性）
- ・男女平等に家庭を支えること。（男性）
- ・男性が家事をする、女性が働くでも良いと思う。（男性）
- ・男性が働き、女性が家事をするという固定観念をなくし、仕事と家事を両立させる。（男性）
- ・男性だけが働かず、女性も働くようにする。（男性）
- ・どっちかが家事をするなどの決まりをなくし、お互いがする。（男性）
- ・別に男性が何しようが女性が何しようが、どちらでもいいと思う。不満があるなら話し合っただけで決めれば良いと思う。（男性）
- ・男性の育休を取りやすいようにする。（性別不明）

6 暴力を許さない意識づくりについて

- ・親密な関係の人などに暴力をしないように、いろんなことを呼び掛ける。（女性）
- ・暴力や嫌がらせをしない。（女性）
- ・暴力を振るったり、大声で怒鳴ったりすることをなくす。（女性）
- ・DVをしない。（男性）
- ・やることやってないからって、暴力を振るわない。（男性）

7 相談支援の充実について

- ・「DV」をされている人はあんまり相談しにくいと思うので、電話などで相談するのが良いと思います。（女性）
- ・悩みごとがあるなら、誰かに相談する。（女性）
- ・DVされている人や自殺などを考えている人への相談窓口を増やす。相談窓口の電話を電話ボックスから無料でかけられるようにする。（性別不明）

8 その他の意見

- ・「レディーファースト」と言って、女子を優先しなくてもよいと思う。（女性）
- ・最近差別と区別が混ざっていると感じます。区別を差別と勘違いしている人がいます。ときには区別も必要だと思う。（女性）
- ・税金の使い方や国のお金の使い方を見直し、実現することや意味のあるものに使う。（女性）
- ・性別関係なく、話せるようにしたい。（女性）
- ・学校だけでなく、さぬき市に住んでいる人全員にアンケートをしてもらう。（男性）
- ・このままでも良いと思う。（男性）
- ・とりあえず女性専用車両はなくすべき。というか言い方を変えるべき。あれ男性が乗ってもいいからね。これは女性を守るべきという考えがあるからこうなる。これでは男性がかわいそうだ。あと年寄りの政治家も嫌いだ。あの人たちがいるから若い人が活躍できないし、関心が離れてしまう。私は政治家が嫌いだ。大人はもっと柔軟な思考を持ったほうがいい。（性別不明）

さぬき市 男女共同参画に関する中学生アンケート調査

～ご協力をお願い～

みなさん、こんにちは。

本市では、性別等にかかわらず、誰もが自分らしく、ともにいきいきと生きることができ
るまちの実現をめざして取り組んでいます。

このアンケートは、さぬき市の中学校に通うみなさんが日ごろから思っていること、
行っていることなどについてお聞きし、これからの男女共同参画社会づくりに向けた計
画の基礎資料とするため、ご回答をお願いするものです。

調査は、誰が記入したのかわからないよう無記名で行います。テストではありませんの
で、安心して思ったことを記入してください。

回答へのご協力をよろしくお願いいたします。

令和4年8月

さぬき市長 大山 茂樹

記入にあたってのお願い

- 1 回答はあなた自身の考えでお答えください。
- 2 番号を選ぶ質問は、番号に○をつけ、書くところがある質問では（ ）内に書
き込んでください。
- 3 書き終わったら、封筒に入れ、封をして担任の先生に提出してください。

男女共同参画社会とは？

性別にかかわらず、一人ひとりの個性を尊重し、
個人の能力を十分に発揮することができる社会のこと。

家庭では

家事や育児・介護など、男女
が協力し、負担がかたよるこ
とがありません。



学びの場では

男女平等の視点に立った学校
教育が推進され、個性や能力
を伸ばし、社会で活躍できる
人を育てています。



働く場では

男性でも育児をする人が増え、
女性が出産後も安心して子育て
しながら働いています。



地域社会では

町内会や地域の活動で、性別
にかかわらず意見が反映さ
れ、暮らしやすい地域づくり
が実現されています。



問1 あなたの性別*をお答えください。(自認する性別をお答えください。)(O印1つ)

1 女性	2 男性	3 その他	4 答えたくない
------	------	-------	----------

※ 性別の選択肢については、多様なお答えに配慮して作成しています。以下、性別に関わる質問については、ご自身のお考えに基づいてお答えください。

問2 あなたと同居している家族を教えてください。(単身赴任の人も含む。)

(あてはまるものすべてにO)

1 母親	3 祖母	5 きょうだい
2 父親	4 祖父	6 その他の人()

問3 あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。又は聞いたことがありましたか。

(O印1つ)

1 知っている(聞いたことがある)	2 知らない(聞いたことはない)
-------------------	------------------

問4 あなたは、次の考え方について、どのように思いますか。(O印1つずつ)

	そう思う	そう思う どちらかといえば	そう思わない どちらかといえば	そう思わない
① 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであると思う (「男は仕事、女は家庭」という考え方)	1	2	3	4
② 「男は男らしく、女は女らしく」という考え方	1	2	3	4
③ 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はないと思う	1	2	3	4
④ 家事や育児は女性の仕事であると思う	1	2	3	4
⑤ 男性の方が論理的であると思う	1	2	3	4
⑥ 女性の方が感情的であると思う	1	2	3	4

問5 あなたは、次の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。①から⑦までの項目についてお答えください。(○印1つずつ)

	男性の方が 非常に優遇されている	どちらかといえば男性 の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性 の方が優遇されている	女性の方が 非常に優遇されている	わからない
① 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
② 学校生活では(授業・部活など)	1	2	3	4	5	6
③ 地域活動では	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場では	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
⑥ しきたりや慣習では	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会全体としては	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、大人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか。(○印1つ)

1 よく言われる	3 あまり言われぬ ---→ 問9へお進みください
2 ときどき言われる	4 言われたことはない → 問9へお進みください

問7 **【問6で「1~2」と答えた方におたずねします。】**

どのようなことについて言われたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 ことばづかい	7 歩き方	13 スポーツ
2 服装や身だしなみ	8 勉強	14 お金の使い方
3 整理整頓	9 進路	15 泣いたとき
4 家事の手伝い	10 テレビ番組	16 その他()
5 食事のしかた	11 友達関係	
6 座り方	12 家に帰る時刻	

問8 **【問6で「1~2」と答えた方におたずねします。】**

あなたはその時どんな気持ちがありましたか。(○印1つ)

1 いやな気持ちでした	3 何とも思わなかった
2 そのとおりだと思った	4 その他()

問9 あなたの家庭では、次の①から⑥までの項目を、誰が行っていますか。最もよく行っている人をお答えください。(○印1つずつ)

	主 に 女 の 家 族 (母 親 や 姉 妹 、 祖 母 な ど)	主 に 男 の 家 族 (父 親 や 兄 弟 、 祖 父 な ど)	男 女 が 同 じ く ら い	そ の 他 の 人	誰 も し な い (す る 必 要 が な い)
① 日常の家事(食事のしたくやあとかたづけ、そうじ、洗たくなど)	1	2	3	4	5
② ごみ出し	1	2	3	4	5
③ 子どもの世話	1	2	3	4	5
④ 祖父母などお年寄りの世話	1	2	3	4	5
⑤ 学校行事への参加(授業参観、PTA等)	1	2	3	4	5
⑥ 生活費を得ること	1	2	3	4	5

問10 あなたは、家の手伝いをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家のそうじ	6 洗たく
2 食事のしたく	7 きょうだいの世話
3 食事のあとかたづけ・食器洗い	8 祖父母などお年寄りの世話
4 ごみ出し	9 その他()
5 買物(おつかい)	10 手伝いはしていない



問10で「1～9」と答えた方は問11へ、「10」と答えた方は問12へお進みください。

問11 【問10で「1～9」と答えた方におたずねします。】

あなたは、ふだん、家事の手伝いを1日にどのくらいしていますか。(○印1つ)

※ 家事とは、食事のしたくや洗たく、そうじなどのほか、きょうだいや祖父母の世話なども含みます。

1 30分未満	3 1～2時間未満	5 3～5時間未満
2 30分～1時間未満	4 2～3時間未満	6 5時間以上

問12 あなたの希望する進路は次のうちどれですか。(○印1つ)

1 中学校まで	5 4年制大学まで
2 高等学校まで	6 大学院(6年制大学含む)まで
3 専門学校・各種学校まで	7 その他()
4 短期大学まで	

問 13 あなたは自分のことを文系タイプだと思いませんか、理系タイプだと思いませんか。（〇印1つ）

1 文系タイプである	4 理系タイプである
2 どちらかといえば文系タイプである	5 どちらともいえない
3 どちらかといえば理系タイプである	6 わからない

問 14 あなたは、どのような女性の働き方が望ましいと思いませんか。（〇印1つ）

1 子どもができて育児をしながら、ずっと働き続けるほうがよい
2 子どもができたなら働くことをやめて、子どもが大きくなったら再び働くほうがよい
3 子どもができたなら、仕事をしないほうがよい
4 結婚したら、仕事をしないほうがよい
5 女性は仕事をしないほうがよい
6 わからない

問 15 あなたは、次の言葉の意味を知っていますか。（〇印1つずつ）

	知っている 内容まで	見聞きした ことがある	知らなかった
① <u>ジェンダー</u> しきたりや慣習など、社会的、文化的につくられた性別のこと。	1	2	3
② <u>ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）</u> 「仕事」と「仕事以外の生活（育児や介護、趣味、学習、地域活動等）」とのバランスを取り、その両方を充実させる働き方、生き方のこと。	1	2	3
③ <u>ドメスティック・バイオレンス（DV）</u> 夫婦や恋人などの親密な関係にある（あった）パートナーからの暴力のこと。（夫婦には、婚姻届を出していない事実婚や同性婚を含む。） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体的暴力：なぐる、ける、首をしめる、髪を引っ張る など ・ 精神的暴力：大声でどなる、無視する、大切にしているものを壊す など ・ 経済的暴力：生活費を渡さない、外で働くことを邪魔する など ・ 性的暴力：性行為を強要する、避妊に協力しない、妊娠・中絶を強要する など ・ 社会的隔離：勝手にメールなどを見る、家族や友人との付き合いを制限する など ・ 子どもを巻き込んだ暴力：子どもの前で暴力をふるう、子どもの前でパートナーをばかにする など </div>	1	2	3

↓ 続く

	知っている	内容まで 見聞きした ことがある	知らなかった
④ デートDV 恋人同士などの間で起こるドメスティック・バイオレンス（DV）のこと。	1	2	3
⑤ LGBTQ 次の頭文字から表現した言葉で、性の多様性を表す。 「セクシュアルマイノリティ」とも呼ばれる。	1	2	3
<ul style="list-style-type: none"> • L（レズビアン）：女性の同性愛者 • G（ゲイ）：男性の同性愛者 • B（バイセクシュアル）：両性愛者 • T（トランスジェンダー）：生まれついた性とは異なる性で生きる人 • Q（クエスチョニング）：自認する性が定まらない人などの総称 			

問 16 あなたは、恋人など親密な関係の人に対して、次のような行動は許されると思いますか。
(○印1つずつ)

	許される	許される場合と 許されない場合がある	許されない
① たたく、ける、物を投げる	1	2	3
② 大声でどなる、無視する	1	2	3
③ いやがっているのに、性的な行為をしようとする	1	2	3
④ 勝手にメールやLINEなどを見る	1	2	3
⑤ 友人との付き合いを制限する	1	2	3

問 17 あなたには、困っているときに悩みを相談できる人がいますか。(○印1つ)

- 1 いる
- 2 いない -----> 問 19 へお進みください
- 3 わからない -> 問 19 へお進みください

問 18 【問 17 で「1」と答えた方におたずねします。】

悩みを相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 担任の先生 | 7 親 |
| 2 保健室やカウンセラーの先生 | 8 祖父母 |
| 3 部活動・クラブの先生 | 9 きょうだい |
| 4 その他の先生 | 10 近所の人、地域の知り合い |
| 5 友達 | 11 ネットで知り合った人 |
| 6 先輩・後輩 | 12 その他 () |

問 19 あなたは今までに自分の身体の性、心の性又は恋愛対象の性などで悩んだことがありますか。(○印1つ)

- 1 悩んだことがある 2 悩んだことはない 3 答えたくない

問 20 男女共同参画社会を実現するために、必要だと思うことや変えていきたいことなどについて自由に書いてください。

(例：性別にかかわらず自由に職業が選べるようになる。男女が一緒に家事をする。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

～ご協力ありがとうございました～

さぬき市 男女共同参画に関する中学生アンケート調査
報告書

発 行 者／2022（令和4）年11月
発 行 者／さぬき市 市民部 人権推進課
〒769-2195 香川県さぬき市志度 5385 番地 8
電 話（087）894-9088
メー ル jinkensuishin@city.sanuki.lg.jp
